山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学
―教室年報：2016―

Department of Gastroenterological,
Breast and Endocrine Surgery
Annual Report 2016

錦帯橋（岩国市）

Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery Annual Report 2016

Contents

Page 1	巻頭言	教授	永野浩昭
Page 2	教授就任あいさつ		飯塚徳男
			上野富雄
Page 4	寄付講座開講あいさつ		硲　彰一
Page 7	教室人事	医局長	鈴木伸明
Page 8	臨床報告（入院）	病棟医長	武田 茂
Page 9	臨床報告（外来）	外来医長	坂本和彦
Page 10	臨床報告（各グループ）		
Page 11			上部消化管グループ
Page 14			下部消化管グループ
Page 17			肝胆膵グループ
Page 20			乳腺・内分泌グループ
Page 23	業績報告		
Page 24			英文論文
Page 27			和文論文
Page 28			国際学会発表・司会
Page 29			国内学会発表・司会
Page 42			研究費取得状況
Page 43			業績その他
Page 45	Clinical and Research Conference 記録		
Page 47	新入局員あいさつ		
Page 48	2016年　年間行事		
Page 73	編集後記		

巻頭言

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学　教授
永野　浩昭
Hiroaki Nagano

大阪大学より山口大学に着任し、2年が経過しました。昨年よりはじめた「教室年報」も第2号になります。時のたつのは本当に早いもので、個人的には、意味のない焦燥感におそわれる毎日をあらためて実感しております。

1．2016年

振り返るといろいろなことがありました。春の熊本での震災は、完全な想定外で、毎年政府から出される震災予想地区の無意味さを露呈した数日間でした。夏には、小池東京都知事選出やリオ五輪での日本選手の大活躍などもありました。また、オバマ前米大統領の広島訪問も2016年の出来事でした。いろいろな意見はあると思いますが、現安倍政権は、少なくとも外交成果を着実にあげているように思います。そういった意味では、年末のプーチン露大統領の山口県長門訪問は、実は将来に向けての大きな第一歩なのかもしれません。

2．世代交代

教室にとっては、世代交代の年でした。これからの10年に向けて、何はともあれ、“教室に新しい息吹を”、そんな思いの1年でした。消化器外科の各疾患の責任者が、上部消化管：武田　茂講師、下部消化管：鈴木伸明講師、肝胆膵：坂本和彦講師、に交代し、未来に向けてスタートをきることができました。

3．教授誕生と寄付講座開講

この世代交代の流れを明るいものにしたのは、二人の教授の誕生と寄付講座開講でした。3月1日付で、飯塚徳男が“広島大学　漢方診療医学講座”の教授に、上野富雄が“川崎医科大学　消化器外科学教室”の主任教授としてそれぞれ赴任いたしました。彼らのこれまでの努力がこの快挙の原点でしょう。また、4月1日付で、教室関連寄付講座“先端がん治療開発学”を開講し、硲彰一が教授に就任しました。今後は外科医を離れて、免疫治療と遺伝子多型などの研究に専念するとともに、大学院生の指導にも尽力してくれることで、教室の研究における核ができました。

4．肝移植・再開

11月15日、念願の生体肝移植手術を16年ぶりに再開いたしました。京都大学の田中紘一名誉教授の来院と執刀により施行されたこの医療は、16年間の長期中断を経て、“山口大学の医療”として再開することができました。第一例目の結果より、肝移植の厳しさを改めて実感することにはなりましたが、その一方で、症例の紹介はとぎれることなく、3カ月に1例のペースで継続しています。事実を真摯に受け止め、移植医療を継続し、さらに確立することが、これからの山口県への貢献になると思っております。

5．これからの10年

この2年間で、教室基盤を刷新することができました。そして、未来に向けて、次の第一歩を進める準備が整ったと思っております。その一方で、今の消化器・腫瘍外科学講座には、“癌治療成績の向上と拠点化”、“講座・診療科再編”、“外科医不足”、など、課題は山積しております。

これからも決して振り返ることなく、山口の医療と医学のために邁進することを、あらためて肝に銘じます。かわらぬ御支援と御指導をよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

広島大学大学院　医歯薬保健学研究院
応用生命科学部門　薬学分野　漢方診療学
教授
飯塚　徳男
Norio Iizuka

スマホが解決する事象が増え、ドローンが提供する映像が増え、バーチャルなのか？それとも現実なのか？戸惑う事も多い昨今ですが、青山会の皆様いかがお過ごしでしょうか？平成元年2外科入局の飯塚でございます。平成28年3月より、広島大学大学院・医歯薬保健学研究院・漢方診療学講座教授を拝命し、一年が経とうしています。この紙面をお借りし、挨拶を兼ねて近況報告したいと思います。

私が勤務する広島大学はJR広島駅から南へ徒歩25分の所に位置し、文字通り医歯薬保健学の4科がコミューンを形成する複合施設です。現在の私の講座にはスタッフが2人いますが、漢方から少し離れた領域の仕事をしています。専属の事務もいませんし、まして秘書もいません。想い起こせば、山口大学に漢方寄附講座ができた時も同じような環境だったと思います。それでも、漢方の講座は、西日本の国立大学にココしかなく、一国一城の主となった分けですから、大きなチャンスを頂いたと思い日々精進しております。

医学部では、漢方診療センターの一員として、週2日の外来診療とともに医学生のポリクリや講義、研修医教育にあたっています。研究室が薬学部に所属するために薬学生の配属があり、着任早々、4名の卒論指導を行っています。今の薬学部は薬学科(6年制)と薬科学(4年制)に分かれていまして、4名のうち1名は薬科学の学生であり今年就職予定ですので、進路・就活指導が大変です。勿論、学部生講義や大学院生講義、OSCEやCBT等の薬学部のルーティンも全て引き受けて対応しています。

以上のように、この一年間の私のエフォートのほとんどは教育・診療に費やされましたので、研究面がやや手薄になっております。現在、日本には医師が約30万、その9割が漢方薬を処方しているという統計データがありますが、一方で、漢方専門医は2千人しかいません。その他の多くの医師たちが、漢方専門医のレベルに近づくためには、漢方用語を共通・標準化して、何をどの程度学んで理解すべきかという指標を作る必要があります。さらには、漢方病名のICD-11への組み込み作業がほぼ完了する西暦2020年までに、漢方という診療および学問体系を整備する必要がございます。このために、漢方教育のIT化や漢方診療のデジタル化を進め、関連特許も取得し、平成29年度は大学病院を含む九州・中国地区臨床研修指定医50病院に漢方教育をインターネット配信し、平成30年以降はその全国展開と漢方eラーニングシステムの事業化へとエフォートを集中させたいと考えています。

以上、簡単ですが、私の近況を報告させて頂きました。今後も、何らかの形で、皆様と関わりを持ち続けたいと考えている次第です。同門の先生方におかれましては、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

ごあいさつ

川崎医科大学　消化器外科学　教授
上野　富雄
Tomio Ueno

昨年(2016年)9月1日付で、川崎医科大学消化器外科学 教授、同附属病院消化器外科 診療部長を拝命した上野富雄です。山口大学消化器・腫瘍外科学教室在職中は、たいへんお世話になりました。赴任前には、教室・同門会を挙げての盛大な壮行会を行っていただきありがとうございました。気を引き締めて着任いたしました。11月には岡田敏正先生、本年1月からは渡邊裕策先生と、2名の優秀な先生を派遣していただき感謝申し上げます。また、それに関連して、教室関連病院の先生方にはご迷惑をおかけし、この場を借り、感謝とお詫びを申します。

我々の拠点である川崎医科大学は、同附属病院(倉敷市)、同総合医療センター(岡山市)、同付属高校、川崎医療福祉大学、川崎医療短期大学、専門学校川崎リハビリテーション学院を有する学校法人川崎学園の一構成要素であり、昭和45(1970)年に「人間(ひと)をつくる　体をつくる　医学をきわめる」を理念とし、川崎祐宣先生により創設されました。同附属病院は昭和48(1973)年12月に開設され、現在1,182床の特定機能病院として、岡山県南西部医療圏、約710,000人(県全体の36.9%)の医療拠点であります。

消化器外科は附属病院開設当初より設置され、第1例目の全麻の手術を担当したという由緒ある科で、これまで佐野開三先生、角田 司先生、平井敏弘先生、中村雅史先生の4名の教授により運営されてきました。また本年4月からは、永野浩昭教授の仲立ちで阪大医局から藤原由規先生が消化管分野を支える特任教授として赴任されることが教授会で承認されています。年間手術数は700例前後で、約2割が緊急手術です。ただ、医局員数は私を含め12名であり、緊急疾患も多いので、現在九州大学第一外科に教授として移籍された中村雅史前教授からも1名の研修を任していただけることになりました。

当地で骨を埋める覚悟で、何事にも取り組みたいと考えております。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

川崎医科大学消化器外科学 上野富雄教授就任記念祝賀会　平成28年12月4日　於ホテルグランヴィア岡山

先端がん治療開発学講座　開講報告

山口大学医学部
先端がん治療開発学講座　教授
硲　彰一
Shoichi Hazama

講座名：先端がん治療開発学講座（消化器・腫瘍外科学関連寄付講座）
Department of Translational Research and Developmental Therapeutics against Cancer

講座のメンバー：硲　彰一、徳光幸生（消化器・腫瘍外科学併任）、恒富亮一（消化器・腫瘍外科学併任）、大場光芳（共同研究員：東洋鋼鈑株式会社）

講座の紹介

本講座は東洋鋼鈑株式会社と日本電気株式会社の寄付により、消化器・腫瘍外科学関連寄付講座として山口大学医学部に設置されました。本講座では、直接患者さんの診断・治療に役立つシーズを育て、がん個別化医療、がん複合免疫療法、がん再生細胞療法、新規がん免疫薬剤等の開発を行うことを目的としています。

臨床的観点よりの研究を推進するため、大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学、消化器内科学などの臨床分野の講座との連携、さらにトランスレーショナル研究を推進するため基礎医学講座並びに4月に新たに設置された創成科学研究科とも連携します。豊富な臨床検体と臨床情報を背景に、基礎的に深化させたトランスレーショナル研究の中心的役割を担い、山口大学における先端がん治療開発の拠点となることを目標に努力いたします。

主な研究内容は、

(1)世界的に望まれている個別化医療を実現するために、薬剤の効果や毒性予測に有用なマーカー遺伝子を搭載した体外診断用医薬品を新たに開発・製造し、山口県から世界に販売することで、個々の患者の薬効予測や副作用予測を可能にし、最も有用で副作用のない治療を提供します。また、東洋鋼鈑株式会社の有するDNAチップ体外診断薬技術によって産業化を目指します。

(2)ペプチドワクチン療法の効果を予測するバイオマーカーの探索・同定と新たな複合癌免疫療法を開発します。また癌局所の微小環境では宿主要因と癌細胞の相互作用により様々な免疫抑制性機構が構築されていますが、これを解除して免疫療法の有効性を飛躍的に高めることが可能です。さらに、日本電気株式会社の最新のエピトープペプチド探索技術を用いてマルチHLA（HLA-A*2402, -A*0201, -A*0206）結合性ペプチドの同定を行い、産学連携により新薬の創出を目指します。

医局員一同

藤本拓也　桑原太一　中島千代　木村祐太　山田健介　佐藤陽子　中島正夫

山本常則　西山光郎　藤原康弘　松隈　聰　北原正博　松井洋人　藤原信行

恒富亮一　友近　忍　徳久善弘　徳光幸生　兼清信介　飯田通久　前田訓子　田中宏典

鈴木伸明　山本　滋　硲　彰一　永野浩昭　吉野茂文　武田　茂　坂本和彦

日常の風景

カンファレンス風景

病棟回診風景

外来風景

教室人事

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学　医局長
鈴木　伸明
Nobuaki Suzuki

現在、医局長を仰せつかっております鈴木伸明です。

平成28年1月から平成28年12月までの大学の人事異動については以下の通りです。

平成28年3月1日付で、医員の新藤芳太郎が米国のVirginia Commonwealth Universityに留学致しました。新藤先生には大学院での研究マインドを活かして、膵島移植を習得して山口大学に還元してくれることを期待します。同年4月1日付で、医員の来嶋大樹、千々松日香里が、下関医療センターへ出向しました。来嶋先生は大学院生として培ったものの見方、考え方を生かして、千々松先生は初々しい女性外科医として、消化器外科・乳腺内分泌外科医としての益々の成長を期待します。また、医員の木村祐太が徳山中央病院に、医員の徳久晃弘が小倉記念病院に出向しました。木村先生は急性期病院でのこれまでの経験を生かして、徳久先生は持ち前の明るい性格で、消化器外科・乳腺内分泌外科医として頑張ってくれるものと期待します。また、当科で乳腺外科医として症例を数多く持ち活躍してくれた筒井理仁が、実家を継ぐために退職し、岡山で筒井医院副院長となりました。筒井先生には今後とも、当科での経験・知識を地元に還元されることを祈念します。

平成28年4月1日付けで、藤原康弘、桑原太一の大学院入学に伴い、山田健介が山口大学病院集中治療部　助教として宇部興産中央病院から、中須賀千代が小倉記念病院から医員として帰学しました。二人とも今まで培った経験を生かして、高い視点と広い視野をもった外科医としてこれからの成長を望みます。

新入局については、平成28年4月1日付けで、初期研修終了後の、渡邊孝啓（関門医療センター2年間）と関矢まり（関門医療センター2年間）の2名の入局者を迎え、山口大学附属病院に医員として配属されました。二人とも初期臨床研修病院も同じなので、今後も互いに切磋琢磨してくれるものと期待しています。また、研究面では2名の大学院入学者を迎え、藤原康弘が山口大学病院集中治療部から、桑原太一が学内からそれぞれ入学致しました。山口大学大学院消化器・腫瘍外科学教室の一員としての自覚を持って、根拠に基づく科学的考察力を持った消化器外科医へと成長していくことを期待しています。

関連病院人事異動（平成28年1月1日から12月31日）

異動日	氏名	異動元	異動先
3月1日	新藤芳太郎	山口大学消化器・腫瘍外科学	Department of Surgery, Transplantation Division, Virginia Commonwealth University
4月1日	清水　良一	厚生連小郡第一総合病院	徳山中央病院
〃	長谷川博康	徳山中央病院	厚生連小郡第一総合病院
〃	衛藤　隆一	厚生連小郡第一総合病院	退職（戸畑リハビリテーション病院）
〃	井上　健	関門医療センター	退職（長崎リハビリテーション病院）
〃	多田　耕輔	徳山中央病院	宇部興産中央病院
〃	河岡　徹	宇部興産中央病院	徳山中央病院
〃	林　秀知	小倉記念病院	下関医療センター
〃	長島　淳	下関医療センター	退職（下関病院）
〃	西村　拓	下関医療センター	小倉記念病院
〃	前田　祥成	下関医療センター	関門医療センター
〃	筒井理仁	山口大学消化器・腫瘍外科学	退職（筒井医院）
〃	中津　宏基	厚生連小郡第一総合病院	市立八幡浜総合病院
〃	友近　忍	市立八幡浜総合病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
〃	橋本　憲輝	小野田赤十字病院	厚生連小郡第一総合病院
〃	木嶋　大樹	山口大学消化器・腫瘍外科学	下関医療センター
〃	長岡　知里	徳山中央病院	小野田赤十字病院
〃	山田　健介	宇部興産中央病院	山口大学病院集中治療部
〃	中須賀千代	小倉記念病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
〃	木村　祐太	山口大学消化器・腫瘍外科学	徳山中央病院
〃	兼定　航	岩国市医療センター医師会病院	宇部興産中央病院
〃	徳久　晃弘	山口大学消化器・腫瘍外科学	小倉記念病院
〃	千々松日香里	山口大学消化器・腫瘍外科学	下関医療センター
11月1日	岡田敏正	美祢市立病院	川崎医科大学　消化器外科

臨床報告（入院）

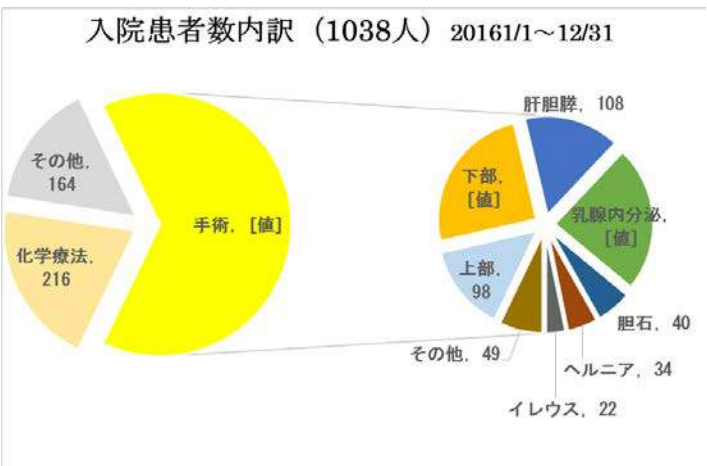
山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学　病棟医長
武田　茂
Shigeru Takeda

病棟医長の武田です。2016年の入院診療につきましてご紹介いたします。

当科の年間手術件数は2010年以降、600件を越していますが、昨年も微増して685件でした（応援手術含む）。鏡視下手術も283件で、各診療グループともに増加しております。入院患者数は1038名で、手術以外では化学療法が216件で約20%占めていました。大学病院の特徴として術前合併のあるリスク症例や高難度症例も多いですが、病床稼働率92.7%、平均在院日数16.9日で比較的良好な結果と思われます。

当科では、上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の4つのグループで診療体制をとっていますが、診療科全体での回診やカンファレンスに加えて各々のチーム毎のカンファレンス・回診も行っています。より専門的で難易度の高い症例にも対応できるようにそれぞれが協力して日々の診療を行っていますが、他診療科や各診療部門とも連携をとりながら安全で質の高い医療を提供できるように努力しております。

現在、附属病院の再発整備事業による新病棟建設を建設中で、平成30年度には新病棟が完成見込みで、手術室や集中治療室なども新しくなる予定です。待機患者を減らして手術件数を増やすように努力したいと思いますので、益々のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



臨床報告（外来）

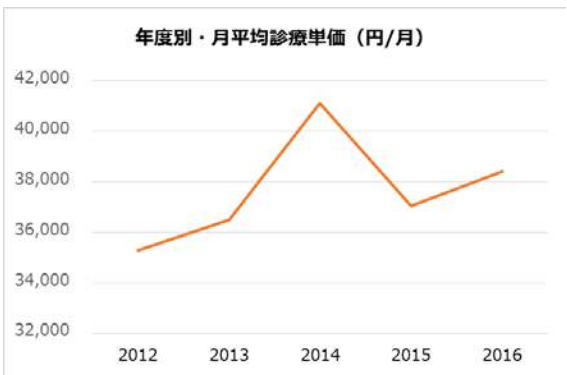
山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学　外来医長
坂本　和彦
Sakamoto Kazuhiko

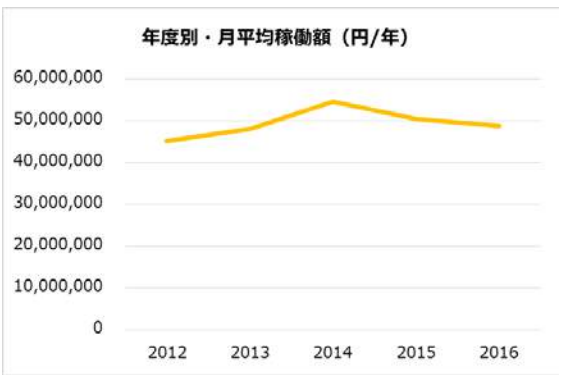
2016年の9月から上野富雄医師から外来医長を引き継ぎました坂本です。当科の外来診療の近況につきましてご報告いたします。

紹介患者さんの初診は、基本的に火曜日は永野浩昭教授、金曜日は武田茂医師が担当、診察させて頂いています。また2016年度からは本格的にチーム診療を導入してまいりました。上部消化管（武田茂医師）、下部消化管（鈴木伸明医師）、肝胆膵（坂本和彦医師）、乳腺内分泌（山本滋医師）の4つのグループ体制をとっており、初診の後、各グループチーフ・スタッフが引き続き診察し、治療方針について話し合います。

新患のほとんどは学内・学外部からのご紹介であり、最近では県内遠方からも紹介していただく機会が増えています。データを見ますと年度別の月平均の外来患者数は2016年度は減少に転じておりますが、診療単価は逆に増加しています。結果として稼働額は昨年とほぼ同等です。これは学外部から当科に紹介して頂いた方はなるべく紹介元の先生方にお返ししている方針の結果と思われます。ただし進行癌の患者さんは術後外来化学療法を必要とすることが多く、当科で継続的に治療するため昨今の化学療法の高額化も反映し診療単価自体は増加していると考察します。早期癌や、遠方の患者さんは紹介元の先生方にお返しし、集学的治療を必要とする患者さんを重点的に診させて頂くという本来の大学病院の役割を反映していると思われます。

今後も皆さまからの益々のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。





専門名	月	火	水	木	金
初診	当番医	永野 浩昭	当番医	当番医	武田 茂
大腸・肛門		鈴木 伸明			鈴木 伸明
肝臓・胆道・膵臓		永野 浩昭 坂本 和彦			坂本 和彦 徳久 善弘
上部消化管		武田 茂			
乳腺・甲状腺		前田 訓子		山本 滋	山本 滋
肝移植		永野 浩昭			永野 浩昭

臨床報告（各グループ）

上部消化管グループ

下部消化管グループ

肝胆膵グループ

乳腺・内分泌グループ

千畳敷（長門市）

上部消化管グループ

スタッフ
武田　茂、飯田通久、
兼清信介、北原正博、吉野茂文

上部消化管グループは武田、飯田、兼清、北原、西山（大学院）のメンバーで食道・胃疾患の診療を行っております。2016年の新規患者123例、手術は102例でした。大半が食道癌、胃癌の症例です。当科は食道外科専門医が3名在籍する県内唯一の食道外科専門医施設で、食道癌では90%以上が鏡視下手術を行っており、低侵襲で安全な手術を目指しております。NSTや周術期リハビリテーションなどチーム医療も積極的に導入して術後合併症の予防に努めています。胃癌については腹腔鏡手術を進行癌にも適応を広げ、80%以上の症例で腹腔鏡手術を行いました。体内吻合による完全鏡視下手術を導入しましたが、合併症も増えることなく良好な成績でした。術後や高度進行症例に対する化学療法は、腫瘍センターの吉野を中心に、地域連携も含めて包括的ながん治療を提供できるように心掛けております。

平成28年診療研究情報報告

入院患者数

食道疾患	38例
食道癌	35例
食道胃接合部癌	2例
食道憩室	1例

胃疾患	85例
胃癌	68例
残胃癌	2例
GIST	7例
十二指腸癌・ＮＥＴ	3例
その他	5例

手術症例数

食道疾患名	37例
食道癌	25例
下咽頭癌	3例
食道胃接合部癌	2例
食道憩室	1例
その他	5例
膿胸	3 例
術後乳び胸	1 例
横隔膜ヘルニア	1 例

術式	37例
食道癌根治術	25例
腹臥位胸腔鏡食道亜全摘術	23例
頸部食道喉頭合併切除	1例
縦隔鏡下食道切除術	1例
遊離空腸再建（応援手術）	3例
噴門側胃切除（観音開き法）	2例
食道憩室切除	1例
その他手術	3例
胸腔鏡下洗浄ドレナージ	3例
胸腔鏡下胸管結紮術	1 例
腹腔鏡補助下ヘルニア修復術	1 例

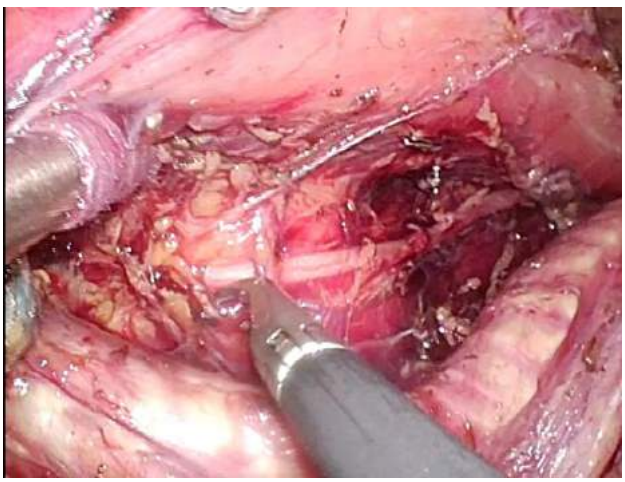
胃疾患名	65例	術式	65例
胃癌	48例	腹腔鏡下胃全摘術	4例
		腹腔鏡下幽門側胃切除術	30例
		腹腔鏡下バイパス術	3例
		胃全摘術	4例
		幽門側胃切除術	5例
		噴門側胃切除術	1例
残胃癌	2例	胃全摘術	1例
		胃部分切除術	1例
GIST	7例	腹腔鏡下胃部分切除術	4例
		胃・十二指腸部分切除術	2例
		LECS	1例
十二指腸癌・NET	3例	LECS	3例
その他（穿孔など）	5例	大網充填・バイパスなど	5例

トピックス

1月	岡山大学臨床解剖実習セミナーに参加しました（武田、飯田、兼清、北原、西山）。
2月	2/12山口県食道疾患研究会で発表しました（兼清） 第 6回肥満症総合治療セミナー に参加しました
3月	JCOG食道班会議にオブザーバー参加しました（武田、兼清） 第88回日本胃癌学会総会に参加しました（吉野、飯田）。 第9回中四国食道外科平成の会に参加しました（武田、兼清、北原、西山） がん診療セミナー in 萩で講演しました（吉野）。
4月	第116回日本外科学会定期学術集会に参加しました（武田、飯田、兼清、北原、西山、吉野）
5月	切除不能再発食道癌に対する2次治療としてのドセキタセルネダプラチンに関する論文がAnticancer Researchに掲載されました(兼清）。 Nippon Neuromuscular Meeting 第6回学術集会で講演しました（吉野）。
6月	第59回関西胸部外科学術集会に参加しました（武田、兼清、北原、西山）。 第18回ESMO-GIに参加しました（吉野）。
7月	第70回日本食道学会学術集会に参加しました（武田、飯田、兼清、北原、西山、吉野） 第71回日本消化器外科学会総会に参加しました（武田、飯田、兼清、北原、西山、吉野）。 第15回食道手術ビデオ懇話会（大阪）に参加しました（武田、兼清）。
9月	進行・再発胃癌に対するS-1 単独療法/S-1 + レンチナン併用療法 による第Ⅲ相試験（JFMC 36-0701）の結果が European Journal of Cancerに掲載されました。 第10回中四国食道外科平成の会に参加しました（武田、兼清、北原、西山）。 第15回国際食道疾患学会議(ISDE 2016)に参加しました(兼清、吉野）。
11月	ＪＤＤW2016に参加しました（武田、飯田、兼清）。 JCOG食道班会議にオブザーバー参加しました（武田、兼清）。 第78回日本臨床外科学会総会に参加しました（武田、飯田、兼清）。 同　学術セミナーで講演しました（吉野）。
12月	第29回日本内視鏡外科学会総会に参加しました（飯田、吉野） 食道外科専門医認定試験に合格しました（兼清）。

平成28年研究報告（平成28年12月31日現在）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000016954	食道癌患者を対象とした術後補助療法としてのS-588410（ペプチドワクチン、塩野義製薬）による第III相多施設共同プラセボ対照二重盲検無作為化比較試験	食道癌	塩野義製薬	実施中
UMIN000008590	進行・再発胃癌に対するTS-1隔日投与法＋レンチナン併用療法を検証する第Ⅱ相試験	胃癌	山口大学	実施中
UMIN000016196	切除不能・進行再発胃癌の2次化学療法としての低用量Nab-Paclitaxel療法の有用性の検討～臨床第II相試験～	胃癌	山口大学	実施中
UMIN000010337	StageⅢの治癒切除胃癌に対する術後補助化学療法としてのTS-1+Docetaxel併用療法とTS-1単独療法のランダム化比較第Ⅲ相試験 JACCRO GC-07（START-2）	胃癌	JACRO	実施中
UMIN000010877	手術支援ロボットを用いた早期胃癌に対する幽門側胃切除術の安全性と有用性の検討	早期胃癌	山口大学	実施中
	食道原発神経内分泌癌（NEC）におけるマイクロRNA発現プロファイルを用いた分子生物学的サブクラスの同定と治療効果予測分子マーカーセットの探索	食道癌	日本神経内分泌腫瘍研究会	申請中
UMIN000025412	食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎抑制作用の検討 －エレンタール非投与群を対照群としたランダム化第Ⅲ相比較臨床試験（EPOC2 study）	食道癌	JFMC	申請中



胸腔鏡下食道切除術

胃手術の風景

下部消化管グループ

スタッフ
鈴木伸明、友近　忍
井上由佳、田中宏典
硲　彰一

2016年、下部消化管グループは鈴木、友近、井上、田中のメンバーを中心に、硲をスーパーバイザーとして診療を行いました。症例は年々増加傾向ですが、なかでも結腸・直腸癌症例に対する手術は102例と、はじめて100例の大台を突破しました。そのうち腹腔鏡手術は92例と実に93%の症例に施行しました（経肛門3症例除く）。良性疾患に関しても積極的に鏡視下手術を導入しています。臨床研究にも積極的に参加し、IRB承認のもと症例登録を行いました。大腸班チームカンファレンスを週1回、消化器内科との合同カンファレンス（Cancer Board）を週1回行っています。消化器・腫瘍外科学としての全体カンファも週2回行っており、ここで肝胆膵班と相談し、抗がん剤治療先行による切除不能肝転移症例に対するconversion therapy （肝転移切除等）も積極的に取り組んでいます。

平成28年診療研究情報報告

入院患者数(化学療法含む)

のべ入院患者数　240人

結腸/直腸癌	139
回盲部癌	14
上行結腸癌	15
横行結腸癌	18
下行結腸癌	4
S状結腸癌	24
直腸癌	54
その他	10

良性疾患	101
イレウス	21
直腸脱	7
炎症性腸疾患（クローン病5例、潰瘍性大腸炎3例）	8
急性虫垂炎、憩室炎等	6
肛門疾患	7
ストーマ造設・閉鎖	11
その他	41

手術症例数

疾患別	手術症例：188例
大腸癌	102例
クローン病・潰瘍性大腸炎	13例
イレウス	12例
虫垂炎	4例
小腸疾患	2例
肛門疾患（痔核、痔瘻）	2例
直腸脱	7例
ストーマ閉鎖術	18例
ストーマ造設術	11例
その他（急性腹症、憩室出血等）	17例

大腸癌：部位別	計102例
盲腸	15
上行結腸	16
横行結腸	13
下行結腸	4
S状結腸	21
直腸	31
大腸重複癌	A,S:1　D,S:1

大腸癌：術式別	症例数	大腸癌：術式別	症例数
回盲部切除術	20例	低位前方切除術	18例（開腹2例）
右半結腸切除術	11例（開腹1例）	Hartmann手術	2例
横行結腸切除術	12例	直腸切断術	3例
下行結腸切除術(functional)	4例（開腹1例）	ISR	0例
S状結腸切除術(functional)	3例	経肛門的腫瘍摘除術	3例
高位前方切除術	24例（開腹1例）	骨盤内臓器全摘術	開腹2例

計 102例

トピックス

1月　熊本で開催された第85回大腸癌研究会に参加しました。（鈴木、井上）

3月　第5回 京・近江大腸がん治療セミナーで「大腸癌治療における最新情報提供 -特にBRAFについて-」の招待講演を行いました。（硲）

5月　シカゴで開催された2016ASCO Annual Meetingに参加しました。（硲）

7月　大阪で開催された第86回大腸癌研究会に参加しました。（鈴木、井上）
第２０回日本がん免疫学会総会で「大腸がんペプチド療法における免疫病態解析と次世代型がん複合免疫・ペプチド療法の構築と臨床展開」の招待講演を行いました。（硲）

9月　第44回日本臨床免疫学会総会で「抑制性免疫の解析によるその制御法や有効例選択バイオマーカーの探索と変異遺伝子を標的とする複合がん免疫療法の開発」の招待講演を行いました。（硲）

11月　伊勢市で開催された第71回日本大腸肛門病学会に参加しました。（硲、鈴木、友近、井上、田中）
第142回山口県医師会生涯研修セミナーで「消化器・乳がんに対する先端がん治療開発の現状と展望」の招待講演を行いました。（硲）

12月　井上先生結婚退職。今年イチバンのトピックスでした。残念ですが、ご活躍を祈念します。

平成２８年臨床試験一覧（平成28年12月31日現在）

UMIN-ID	課題名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000016776	RAS遺伝子（KRAS/NRAS遺伝子）野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験（PARADIGM study）（3）	切除不能進行大腸癌	株式会社リニカル	継続中
UMIN000016782	RAS遺伝子（KRAS/NRAS遺伝子）野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験における治療感受性、予後予測因子の探索的研究（PARADIGM 付随研究）（2）	切除不能進行大腸癌	株式会社リニカル	継続中
UMIN000015916	「抗EGFR抗体薬パニツムマブ投与歴のあるKRAS遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌に対する三次治療におけるパニツムマブ再投与の第Ⅱ相試験」におけるバイオマーカー研究（JACCRO CC-09AR）	切除不能進行大腸癌	JACCRO	継続中
UMIN000018217	RAS野生型進行大腸癌患者における FOLFOXIRI＋セツキシマブとFOLFOXIRI＋ベバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験(JACCRO CC-13試験)	切除不能進行大腸癌	JACCRO	継続中

UMIN-ID	課題名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000018412	RAS野生型進行大腸癌患者における FOLFOXIRI＋セツキシマブとFOLFOXIRI＋ベバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験におけるバイオマーカー研究 (JACCRO CC-13AR)	切除不能進行大腸癌	JACCRO	継続中
UMIN000017102	化学療法未治療の切除不能な進行・再発大腸癌に対するFOLFOXIRI+ベバシズマブ療法の第Ⅱ相臨床試験（Be TRI）	切除不能進行大腸癌	TRI	継続中
UMIN000026690	大腸がん腫瘍浸潤リンパ球のT細胞受容体（TCR）網羅的解析による化学療法剤の効果予測と抗腫瘍特異的免疫誘導効果に関する研究(2)	切除不能進行大腸癌	山口大学	継続中
UMIN000020440	進行・再発固形癌に対するHSP70由来ペプチド+GCP3由来ペプチド+IMP321+Hiltonolの複合免疫療法としての第Ⅰ相臨床試験	切除不能進行大腸癌	NEC 山口大学	継続中
UMIN000022082	進行・再発大腸がんに対する抑制性免疫解除剤+5種類のペプチドカクテル+CpGの複合免疫療法の第Ⅰ相臨床試験（2）	切除不能進行大腸癌	山口大学	継続中
UMIN000011750	肛門近傍の下部直腸癌に対する腹腔鏡下手術の前向き第Ⅱ相試験（ULTIMATE TRIAL）(3)	下部直腸癌	大腸癌研究会	継続中

腹腔鏡補助下大腸癌手術風景

2016ASCOで、シカゴ大学中村祐輔教授と、懇親の場を持ちました

第71回日本大腸肛門病学会が伊勢市で開催され、
伊勢神宮にお参りしました

井上先生、ご結婚おめでとうございます。
末永く、お幸せに　　(^ ^)/　(^○^)

肝胆膵グループ

スタッフ
上野富雄、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松井洋人、松隈　聰

我々は肝臓・胆道・膵臓領域の疾患、特に“悪性腫瘍”に対して、外科手術を中心とした治療を提供するために編成された専門チームです。日本肝胆膵外科学会が定める“高度技能修練施設”、とくに高難度手術を年間50例以上こなす“認定施設A”として山口県唯一の認定施設です。難治癌である胆道癌や膵臓癌に対する血管合併切除を伴う拡大手術はもとより、胆道再建を伴わない肝切除、または膵臓の一部の疾患に対しては腹腔鏡を利用した縮小手術にも積極的に取り組んでいます。しかし肝胆膵領域の悪性腫瘍はすべてが手術のみで根治を得られる訳ではないため、術後再発の可能性が高い所見が認められた場合、手術不能な再発が起こった場合は、抗癌剤治療や放射線治療を適切に選択できる統合的医療の提供をいたします。当院における肝胆膵領域癌治療は、それぞれの領域において週１回内科・放射線科と合同カンファレンスを開催し、個々の患者さんに最適な治療を提供できるような体制をとっています。

平成28年診療研究情報報告

入院患者数（化学療法を含む）

肝疾患	99
肝細胞癌	42
転移性肝腫瘍	29
肝内胆管癌	25
PSC（肝移植）	1
ドナー(肝移植)	1
C型肝硬変(肝移植)	1

胆道疾患	124
胆嚢癌	23
胆管癌	23
十二指腸乳頭部癌	7
良性・その他	71

膵・脾疾患	71
膵癌	63
PNET	3
慢性膵炎	2
IPMN	1
SCN	1
IPH	1

手術症例数

() 腹腔鏡手術症例、＊重複あり

	肝切除					生体肝移植		肝焼灼	胆管切除再建	膵頭十二指腸切除	膵体尾部切除	その他	計
	葉切以上	区域	亜区域	外側区域	部分	ドナー	レシピエント						
肝細胞癌	5(2)	3	10(6)	1	16(10)					-	-		35(18)
肝内胆管癌	1				1(1)				1	-	-		2(1)
転移性肝癌	1	2(1)	1(1)	1(1)	13(5)					-	-		18(8)
その他の肝疾患		1			1(1)		1			-	-		3(1)
肝門部･上部胆管癌	4*								4*			1	5
中･下部胆管癌										2			2
胆嚢癌	1*				3*(1)				4*	1			6(1)
乳頭部癌										6			6
その他の胆道疾患									2			40(35)	42(35)
膵頭部癌	-	-	-	-	-			-		8		3	11
膵体尾部癌	-	-	-	-	-			-			4	2	6
その他の膵疾患	-	-	-	-	-			-		3	2(1)	4	9(1)
上記以外						1						2(2)	3(2)
計	12(2)*	6(1)	11(7)	2(1)	34(18)	1	1	0	11*	20	6(1)	52(37)	148(67)

トピックス

1月　肝移植術後管理フォーラムに参加しました（坂本、徳久、徳光）

九州肝臓外科研究会に参加しました（坂本、徳久、徳光）

2月　九州胆膵癌治療フォーラムに参加しました（上野、坂本）

3月　「膵癌根治術後の肺転移の外科的切除の適応」に関する論文がJ Clin Gastroenterol誌に掲載されました（中島）

山口県肝移植・周術期セミナーが開催、参加しました（全員）

4月　大阪大学に生体肝移植を見学に行きました（坂本、徳光、松隈）

大阪大学に施設見学に行きました（松隈）

岩手医科大学に腹腔鏡下肝切除を見学に行きました（松隈）

6月　坂本和彦医師が日本肝胆膵外科学会高度技能専門医に認定されました

7月　日本移植学会リーダー養成研修コースに参加しました（坂本）

山口膵胆道疾患研究会が開催、参加しました（全員）

8月　肝臓内視鏡外科研究会ハンズオンセミナーに参加しました（松井、松隈、藤本）

9月　上野富雄医師が川崎医科大学消化器外科学教室の教授に就任されました

KHBO（関西肝胆道オンコロジーグループ）世話人会に出席、議題を提案しました（松井）

Hepatocellular Carcinoma: Diagnosis and Treatment (第3版)に執筆しました（徳光）

山口県肝疾患コーディネーター養成講習会で講演しました（坂本）

10月　がん市民公開講座「肝がん」で講演しました（坂本）

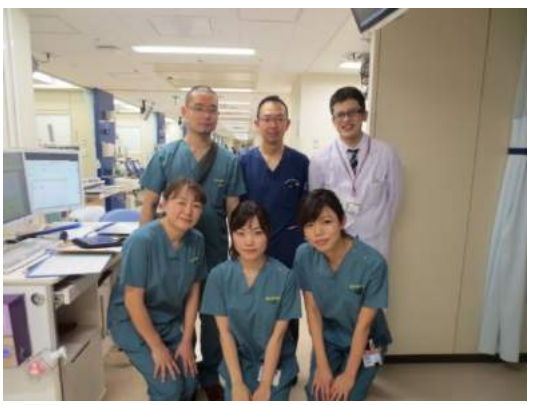
11月　16年ぶりに生体肝移植手術を再開しました（山口大学として5例目）

「Calreticulinは膵癌幹細胞様細胞に高発現している」に関する論文がCancer Sci誌に掲載されました（松隈）

「化学療法関連口内炎とTNFα遺伝子多型との関連」に関する論文がMol Clin Oncol誌に掲載されました（坂本）

肝胆膵高難度外科手術（第2版）に執筆しました（坂本）

3月　山口県肝移植・周術期セミナー
（大阪大学Dr、Ns、コーディネーターを招聘して）



4月　生体肝移植見学（山口大学病棟Nsと一緒に）

11月　生体肝移植

坂本先生、高度技能専門医認定されました

平成28年研究報告（平成28年12月31日現在）

終了した臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進歩状況
肝	なし	HCCに対する系統的肝切除と非系統的肝切除の比較-日本-韓国の肝胆膵外科共同研究	肝細胞癌	関西医科大学	終了
胆	UMIN000009831	FDG-PET陽性リンパ節転移を伴う切除可能胆道癌に対する術前ゲムシタビン／シスプラチン／S-1併用術前化学療法(GCS療法)のphaseII 試験(KHBO1201)	胆道癌	KHBO	終了
	UMIN000009945	肝葉切除を伴う胆道癌切除例に対するGemcitabine(GEM)またはS-1の術後補助化学療法の無作為化第II相比較試験（KHBO1208試験）	胆道癌（肝内胆管癌を含む）	KHBO	終了
	UMIN000017914	中部胆管癌に対するPDと胆管切除の比較	中部胆管癌	東北大学	終了
膵	主施設登録中	膵頭十二指腸切除術における慢性肝障害の影響に関する研究	膵頭十二指腸切除を施行された患者	東京慈恵会医科大学	終了

実施中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進歩状況
肝	UMIN000019205	症例登録システムを用いた腹腔鏡下肝切除術の安全性に関する検討 -前向き多施設共同研究-	腹腔鏡下肝切除を予定された患者	肝臓内視鏡外科研究会	実施中
	UMIN000010691	肝細胞癌術後再発予防を目的としたHSP70mRNA導入樹状細胞療法の第Ⅰ/Ⅱ相ランダム化比較臨床試験	肝細胞癌	山口大学	実施中
膵	UMIN000010253	特許化した吻合補助器を用いた新規吻合法に関する臨床研究	膵頭十二指腸切除を施行される患者	山口大学	実施中
	UMIN000018763	膵全摘患者に対する前向き実態調査	膵全摘を施行された患者	近畿大学	実施中
	UMIN000023237	膵体尾部切除での膵実質切断における脾静脈剥離-個別処理と脾静脈同時切断の多施設共同無作為化比較第Ⅲ相試験 COmbined resection versus Separated resection after MObilization of the Splenic vein during Distal Pancreatectomy; A multicenter, prospective, randomized phase III trial - COSMOS-DP trial –	膵疾患（膵体尾部切除を予定された患者）	和歌山県立医科大学	実施中
	なし	膵臓癌の診療向上のための分子遺伝学的および分子疫学的研究	膵癌	大阪大学	実施中
	UMIN000016380	膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究（TRINET1332）	神経内分泌腫瘍	日本神経内分泌腫瘍研究会	実施中

申請中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進歩状況
肝	なし	肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する観察研究：SURF trial付随研究	肝細胞癌	東京大学	IRB申請中
胆	なし	胆管内乳頭状腫瘍、粘液性嚢胞性腫瘍、乳頭型胆管癌の日韓合同大規模データ集計への当科症例の資料提出	胆管内乳頭状腫瘍、粘液性嚢胞性腫瘍、乳頭型胆管癌	獨協医科大学	IRB申請中
膵	UMIN000020978	浸潤性膵管癌切除後の残膵再発に対する再切除の意義の検討	膵癌	名古屋大学	IRB申請中
	なし	Borderline resectable膵癌に対する治療成績についての後ろ向き研究	膵癌	九州膵胆道癌治療研究会	IRB申請中
	なし	慢性膵炎による難治性疼痛に対する外科治療　施行症例の検討-多施設共同後向き観察研究-	慢性膵炎	三重大学	IRB申請中
	なし	慢性膵炎に対する外科治療の実態調査と普及への課題解析　-多施設共同後向き観察研究-	慢性膵炎	三重大学	IRB申請中
	未	切除可能境界膵癌に対するGemcitabine／nab-Paclitaxel併用療法もしくはmFOLFIRINOXによる術前化学療法に関する多施設共同前向き観察研究	膵癌	山口大学	IRB申請中

乳腺内分泌グループ

スタッフ
山本　滋、前田訓子、佐藤陽子

乳腺・甲状腺・副甲状腺の悪性・良性疾患の外科手術および薬物療法などを、診断を含めて幅広く行っています。特に乳癌センチネルリンパ節生検においては、3D CT-リンフォグラフィ、Real-time Virtual Sonography (RVS), ICGによるセンチネルリンパ節直接マーキング法といった当科オリジナルの方法で、センチネルリンパ節を高精度に同定しています。さらに乳房温存手術において、乳腺部分切除後の欠損部に対する乳腺脂肪弁充填術式および部分切除補助器具（商品名　リセクションガイド、特許取得済み）も新規考案し、良好な整容性が保たれています。また、当院では形成外科専門医、乳腺専門医が備わっており、すべてのインプラントを考慮した乳房再建手術を保険診療で行うことが可能です。今後は、山口県の乳腺外科および内分泌外科の若手専門医の教育・育成に力を注ぎたいと思います。

平成28年診療研究情報報告

入院患者数

乳腺疾患	168
乳癌	133
良性疾患	18
マンモトーム検査	14
その他	3

甲状腺疾患	11
甲状腺癌	2
Basedow病	6
良性腫瘍・その他	3
副甲状腺疾患	0

手術症例数

乳腺疾患	151
乳癌に対する手術	133
乳房切除術単独	10
乳房切除術＋センチネルリンパ節生検	68
乳房切除術＋腋窩リンパ節郭清	11
乳房温存術単独	6
乳房温存術＋センチネルリンパ節生検	33
乳房温存術＋腋窩リンパ節郭清	0
皮下乳腺全摘+乳房再建	4
悪性・その他	0
良性・その他	18

甲状腺・副甲状腺疾患	11
甲状腺癌に対する手術	2
甲状腺葉切除+頚部郭清	2
甲状腺全摘＋頚部郭清	0
甲状腺良性腫瘤	3
Basedow病手術	6
副甲状腺手術	0

トピックス

2016.4月　第一外科から佐藤が、乳腺専門医取得のため2年間の予定で乳腺グループに加わりました。

4月　日本外科学会定期学術集会で、山本、前田が発表しました

5月　日本内分泌外科学会総会で、山本が発表しました

6月　日本乳癌学会で、山本、前田が発表しました

10月　日本乳癌学会中国四国地方会で、山本、前田、佐藤が発表しました。当科で開発した乳腺円状部分切除器（商品名リセクションガイド）ブース展示を　（株）東鋼に行っていただきました

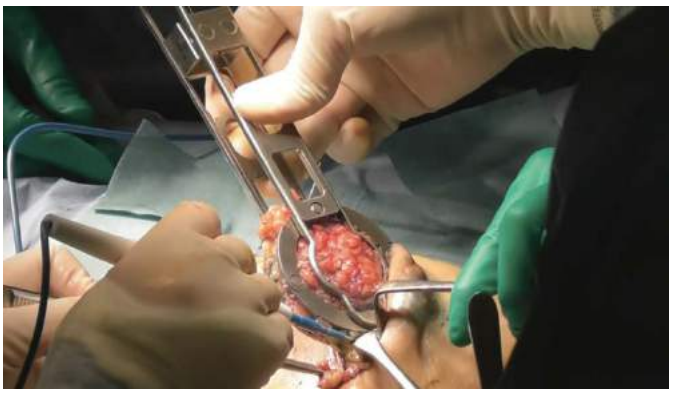
10月 日本癌治療学会で、山本が発表しました

10月日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会総会で、山本が発表しました

12月日本臨床外科学会総会で、前田（ビデオシンポジウム）、佐藤が発表しました

平成28年研究報告（平成28年12月31日現在）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
000007166	A phase Ⅱ study of a low dose every 3 weeks Nab-paclitaxel for metastatic or recurrent breast cancer.	転移・再発乳癌	山口大学	登録終了
	転移性乳癌におけるエリブリン・タキサン逐次投与の有用性の検討	転移乳癌	山口大学	IRB申請中
000015780	乳がん術後上肢リンパ浮腫の検出に用いられる非侵襲的検査値の術後変動の検討	乳癌	山口大学	実施中
000014952	FUSION 01study	乳癌	日本乳腺甲状腺超音波医学会	実施中
000000843	JBCRG-04	病理学的R1乳癌	JBCRG	登録終了
000001090	NSAS BC-06	閉経後乳癌	NSAS	登録終了
000002349	RESPECT	HER2陽性乳癌	NSAS	登録終了
000018202	HER2陽性の進行・再発乳癌に対するペルツズマブ再投与の有用性を検証する第III相臨床研究－ ペルツズマブ再投与試験 －JBCRG-M05(PRECIOUS)」	HER2陽性乳癌	JBCRG	実施中



リセクションガイドを用いた手術風景

当科で開発した乳腺円状部分切除器（商品名リセクションガイド）

2016年　業績報告

吉田松陰誕生地（萩市）

英文論文

1. Hasegawa S, Nagano H, Konno M, Eguchi H, Tomokuni A, Tomimaru Y, Asaoka T, Wada H, Hama N, Kawamoto K, Marubashi S, Nishida N, Koseki J, Mori M, Doki Y, Ishii H. A crucial epithelial to mesenchymal transition regulator, Sox4/Ezh2 axis is closely related to the clinical outcome in pancreatic cancer patients. Int J Oncol. 2016 Jan; 48(1): 145-152
2. Kobayashi S, Takeda Y, Nakahira S, Tsujie M, Shimizu J, Miyamoto A, Eguchi H, Nagano H, Doki Y, Mori M. Fibrin Sealant with Polyglycolic Acid Felt vs Fibrinogen-Based Collagen Fleece at the Liver Cut Surface for Prevention of Postoperative Bile Leakage and Hemorrhage: A Prospective, Randomized, Controlled Study. J Am Coll Surg. 2016 Jan; 222(1): 59-64
3. Sakamoto T, Kobayashi S, Yamada D, Nagano H, Tomokuni A, Tomimaru Y, Noda T, Gotoh K, Asaoka T, Wada H, Kawamoto K, Marubashi S, Eguchi H, Doki Y, Mori M. A Histone Deacetylase Inhibitor Suppresses Epithelial-Mesenchymal Transition and Attenuates Chemoresistance in Biliary Tract Cancer. PLoS One. 2016 Jan 4; 11(1): e0145985
4. Hasegawa S, Eguchi H, Tomokuni A, Tomimaru Y, Asaoka T, Wada H, Hama N, Kawamoto K, Kobayashi S, Marubashi S, Konno M, Ishii H, Mori M, Doki Y, Nagano H. Pre-treatment neutrophil to lymphocyte ratio as a predictive marker for pathological response to preoperative chemoradiotherapy in pancreatic cancer. Oncology Letters. 2016 Feb; 11(2): 1560-1566
5. Maekawa R, Sato S, Okada M, Lee L, Tamura I, Jozaki K, Kajimura T, Asada H, Yamagata Y, Tamura H, Yamamoto S, Sugino N. Tissue-Specific Expression of Estrogen Receptor 1 Is Regulated by DNA Methylation in a T-DMR. Mol Endocrinol. 2016 Mar;30(3). 335-47
6. Ueda M, Kamada Y, Takamatsu S, Shimomura M, Maekawa T, Sobajima T, Fujii H, Nakayama K, Nishino K, Yamada M, Kobayashi Y, Kumada T, Ito T, Eguchi H, Nagano H, Miyoshi E. Specific increase in serum core-fucosylated haptoglobin in patients with chronic pancreatitis. Pancreatology. 2016 Mar-Apr;16(2): 238-243
7. Kano Y, Iguchi T, Matsui H, Adachi K, Sakoda Y, Miyakawa T, Doi S, Hazama S, Nagano H, Ueyama Y, Tamada K. Combined adjuvants of poly(I:C) plus LAG-3-Ig improve antitumor effects of tumor-specific T cells, preventing their exhaustion. Cancer Sci. 2016 Apr; 107(4): 398-406
8. Kanekiyo S, Takeda S, Nakajima M, Nishiyama M, Kitahara M, Shindou Y, Iida M, Abe T, Yoshino S, Hazama S, Nagano H. Efficacy and Safety of Biweekly Docetaxel in Combination with Nedaplatin as Second-line Chemotherapy for Unresectable or Recurrent Esophageal Cancer. Anticancer Res. 2016 Apr; 36(4): 1923-1927
9. Tomimaru Y, Eguchi H, Gotoh K, Kawamoto K, Wada H, Asaoka T, Noda T, Yamada D, Ogawa H, Umeshita K, Nagano H, Doki Y, Mori M. Platelet count is more useful for predicting posthepatectomy liver failure at surgery for hepatocellular carcinoma than indocyanine green clearance test. J Surg Oncol. 2016 Apr; 113(5): 565-569
10. Marubashi S, Nagano H, Eguchi H, Wada H, Asaoka T, Tomimaru Y, Tomokuni A, Umeshita K, Doki Y, Mori M. Minimum graft size calculated from pre-operative recipient status in living donor liver transplantation. Liver Transpl. 2016 May; 22(5). 599-606
11. Okada KI, Kawai M, Hirono S, Fujii T, Kodera Y, Sho M, Nakajima Y, Satoi S, Kwon AH, Shimizu Y, Ambo Y, Kondo N, Murakami Y, Ohuchida J, Eguchi H, Nagano H, Oba MS, Morita S, Sakamoto J, Yamaue H; JAPAN-PD Investigators. Evaluation of the efficacy of daikenchuto (TJ -100) for the prevention of paralytic ileus after pancreaticoduodenectomy: A multicenter, double-blind, randomized, placebo-controlled trial. Surgery. 2016 May; 159(5): 1333-1341
12. Maekawa T, Kamada Y, Ebisutani Y, Ueda M, Hata T, Kawamoto K, Takamatsu S, Mizutani K, Shimomura M, Sobajima T, Fujii H, Nakayama K, Nishino K, Yamada M, Kumada T, Ito T, Eguchi H, Nagano H, Miyoshi E. Serum Mac-2 binding protein is a novel biomarker for chronic pancreatitis. World J Gastroenterol. 2016 May 7; 22(17): 4403-4410
13. Eguchi S, Furukawa H, Uemoto S, Umeshita K, Imamura H, Soyama A, Shimamura T, Isaji S, Ogura Y, Egawa H, Kawachi S, Kasahara M, Nagano H, Ku Y, Ohdan H, Maehara Y, Sato S, Inomata Y. Outcomes of Living Donor Liver Transplantation Alone for Patients on Maintenance Renal Replacement Therapy in Japan: Results of a Nationwide Survey. Transplant Direct. 2016 May; 2(6): e74

15. Yamamoto S, Suga K, Maeda K, Maeda N, Yoshimura K, Oka M. Breast sentinel lymph node navigation with three-dimensional computed tomography-lymphography: a 12-year study. Breast Cancer. 2016 May;23(3): 456-62
16. Kajihara J, Tomimaru Y, Eguchi H, Yamada D, Wada H, Tomokuni A, Asaoka T, Kawamoto K, Marubashi S, Nagano H, Umeshita K, Doki Y, Mori M. The Clinical Impact of Transcatheter Arterial Chemoembolization (TACE)-Induced c-Met Upregulation on TACE Refractoriness in Hepatocellular Carcinoma. Dig Dis Sci. 2016 Jun; 61(6): 1572-1581
17. Tamura K, Hazama S, Yamaguchi R, Imoto S, Takenouchi H, Inoue Y, Kanekiyo S, Shindo Y, Miyano S, Nakamura Y, Kiyotani K. Characterization of the T cell repertoire by deep T cell receptor sequencing in tissues and blood from patients with advanced colorectal cancer. Oncol Lett. 2016 Jun;11(6): 3643-3649
18. Nagasaka T, Mishima H, Sawaki A, Shimokawa M, Inukai M, Shinozaki K, Tanioka H, Nasu J, Nishina T, Hazama S, Okajima M, Yamaguchi Y. Protocol of a randomised phase III clinical trial of sequential capecitabine or 5-fluorouracil plus bevacizumab (Cape/5-FU-Bmab) to capecitabine or 5-fluorouracil plus oxaliplatin plus bevacizumab (CapeOX/mFOLFOX6-Bmab) versus combination CapeOX/mFOLFOX6-Bmab in advanced colorectal cancer: the C-cubed (C3) study. BMJ Open. 2016 Jun 2;6(6): e011454
19. Kawai M, Hirono S, Okada KI, Sho M, Nakajima Y, Eguchi H, Nagano H, Ikoma H, Morimura R, Takeda Y, Nakahira S, Suzumura K, Fujimoto J, Yamaue H. Randomized Controlled Trial of Pancreaticojejunostomy versus Stapler Closure of the Pancreatic Stump During Distal Pancreatectomy to Reduce Pancreatic Fistula. Ann Surg. 2016 Jul; 264(1): 180-187
20. Kaibori M, Sakai K, Ishizaki M, Matsushima H, De Velasco MA, Matsui K, Iida H, Kitade H, Kwon AH, Nagano H, Wada H, Haji S, Tsukamoto T, Kanazawa A, Takeda Y, Takemura S, Kubo S, Nishio K. Increased FGF19 copy number is frequently detected in hepatocellular carcinoma with a complete response after sorafenib treatment. Oncotarget. 2016 Aug 2; 7(31): 49091-49098
21. Ueno M, Nakai T, Hayashi M, Hirokawa F, Nagano H, Wada H, Kaibori M, Matsui K, Tanaka S, Yamaue H, Kubo S. Survival outcome of salvage hepatectomy in patients with local, recurrent hepatocellular carcinoma who underwent radiofrequency ablation as their first treatment. Surgery. 2016 Sep;160(3): 661-670
22. Ho MC, Hasegawa K, Chen XP, Nagano H, Lee YJ, Chau GY, Zhou J, Wang CC, Choi YR, Poon RT, Kokudo N. Surgery for Intermediate and Advanced Hepatocellular Carcinoma: A Consensus Report from the 5th Asia-Pacific Primary Liver Cancer Expert Meeting (APPLE 2014). Liver Cancer. 2016 Oct; 5(4): 245-256
23. Wada H, Eguchi H, Noda T, Ogawa H, Yamada D, Tomimaru Y, Tomokuni A, Asaoka T, Kawamoto K, Gotoh K, Marubashi S, Umeshita K, Nagano H, Doki Y, Mori M. Selection criteria for hepatic resection in intermediate-stage (BCLC stage B) multiple hepatocellular carcinoma. Surgery. 2016 Nov; 160(5): 1227-1235
24. Kaibori M, Nitta H, Hayashi M, Takemura S, Nagano H, Matsui K, Ikoma H, Nakai T, Yasunaga M, Kido M, Aoki T, Rikiyama T, Sano K, Kudo A, Katagiri S, Otsuka Y, Kuroki T, Nomi T, Yano K, Endo I, Ueno M, Kanazawa A, Terajima H, Ko S, Honda G, Seyama Y, Sunagawa H, Aibara T. Questionnaire survey on work motivations of gastrointestinal and hepatobiliary pancreatic surgeons enrolled in a Japanese national interdisciplinary program. J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2016 Nov; 23(11): 697-702
25. Akita H, Ritchie SA, Takemasa I, Eguchi H, Pastural E, Jin W, Yamazaki Y, Goodenowe DB, Nagano H, Monden M, Mori M, Doki Y. Serum Metabolite Profiling for the Detection of Pancreatic Cancer: Results of a Large Independent Validation Study. Pancreas. 2016 Nov; 45(10): 1418-1423
26. Matsukuma S, Yoshimura K, Ueno T, Oga A, Inoue M, Watanabe Y, Kuramasu A, Fuse M, Tsunedomi R, Nagaoka S, Eguchi H, Matsui H, Shindo Y, Maeda N, Tokuhisa Y, Kawano R, Furuya-Kondo T, Itoh H, Yoshino S, Hazama S, Oka M, Nagano H. Calreticulin is highly expressed in pancreatic cancer stem-like cells. Cancer Sci. 2016 Nov; 107(11). 1599-1609
27. Okubo K, Wada H, Tanaka A, Eguchi H, Hamaguchi M, Tomokuni A, Tomimaru Y, Asaoka T, Hama N, Kawamoto K, Kobayashi S, Marubashi S, Nagano H, Sakaguchi N, Nishikawa H, Doki Y, Mori M, Sakaguchi S. Identification of Novel and Noninvasive Biomarkers of Acute Cellular Rejection After Liver Transplantation by Protein Microarray. Transplant Direct. 2016 Nov 18; 2(12): e118
28. Tanaka S, Hikita H, Tatsumi T, Sakamori R, Nozaki Y, Sakane S, Shiode Y, Nakabori T, Saito Y, Hiramatsu N, Tabata K, Kawabata T, Hamasaki M, Eguchi H, Nagano H, Yoshimori T, Takehara T. Rubicon inhibits autophagy and accelerates hepatocyte apoptosis and lipid accumulation in nonalcoholic fatty liver disease. Hepatology. 2016 Dec; 64(6): 1994-2014

31. Kitahara M, Hazama S, Tsunedomi R, Takenouchi H, Kanekiyo S, Inoue Y, Nakajima M, Tomochika S, Tokuhisa Y, Iida M, Sakamoto K, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Yamamoto S, Yoshino S, Nagano H. Prediction of the efficacy of immunotherapy by measuring the integrity of cell-free DNA in plasma in colorectal cancer. Cancer Sci. 2016 Dec;107(12): 1825-1829
32. Hazama S, Maeda H, Iwamoto S, Kim HM, Takemoto H, Kobayashi K, Sakamoto J, Nagata N, Oba K, Mishima H. A Phase II Study of XELOX and Cetuximab as First-Line Therapy in Patients With KRAS Wild Type Metastatic Colorectal Cancer (FLEET2 Study). Clin Colorectal Cancer. 2016 Dec;15(4): 329-336
33. Usui T, Sakurai M, Enjoji S, Kawasaki H, Umata K, Ohama T, Fujiwara N, Yabe R, Tsuji S, Yamawaki H, Hazama S, Takenouchi H, Nakajima M, Tsunedomi R, Suzuki N, Nagano H, Sato K. Establishment of a Novel Model for Anticancer Drug Resistance in Three-Dimensional Primary Culture of Tumor Microenvironment. Stem Cells Int. 2016:7053872
34. Tokumitsu Y, Nagano H. Current HCC Staging Systems : Their Uses and Limitations. Hepatocellular Carcinoma Diagnosis and Treatment Third Edition. 2016: 425-442
35. Yoshino S, Nishikawa K, Morita S, Takahashi T, Sakata K, Nagao J, Nemoto H, Murakami N, Matsuda T, Hasegawa H, Shimizu R, Yoshikawa T, Osanai H, Imanon M, Naitoh H, Tanaka A, Tajiri T, Gochi A, Suzuki M, Sakamoto J, Saj S, Oka M . Randomised phase III study of S-1 alone versus S-1 plus lentinan for unresectable or recurrent gastric cancer (JFMC36-0701). European Journal of Cancer. 65(2016): 164-171
36. Ueda Y, Ikegami T, Soyama A, Akamatsu N, Shinoda M, Ishiyama K, Honda M, Marubashi S, Okajima H, Yoshizumi T, Eguchi S, Kokudo N, Kitagawa Y, Ohdan, H, Inomata Y, Nagano H, Shirabe K, Uemoto S, Maehara Y. Simeprevir or telaprevir with peginterferon and ribavirin for recurrent hepatitis C after living-donor liver transplantation: A Japanese multicenter experience. Hepatol Res. 2016 Dec; 46(13): 1285-1293.

和文論文

1. 上野富雄、田辺昌寛　膵腫瘤の鑑別と治療方針決定に必要な画像診断　コンセンサス癌治療2016　第14巻　第1号　へるす出版　28-32
2. 永野浩昭　特別講演3　肝移植－今、知っておきたいこと－　山口県医師会報　第1866号　2016年2月号　一般社団法人　山口県医師会　161－164
3. 永野浩昭、吉野茂文、硲彰一、上野富雄　シンポジウム　「消化器がんに対するがん薬物療法」　山口県医師会報　第1867号　2016年3月号　一般社団法人　山口県医師会　219－224
4. 桑原太一、坂本和彦、中島正夫、藤本拓也、松隈聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、徳久善弘、上野富雄、永野浩昭　特集6　肝区域・葉切除術　消化器外科NURSING　GASTROENTEROLOGICAL SURGERY NURSING　2016年　第21巻7号　40(608)-47(615)
5. 飯田通久、吉野茂文、北原正博、兼清信介、武田茂、永野浩昭　安全かつ迅速な hemi-double stapling method による幽門側胃切除後 B-Ⅰ 再建　手術　第70巻　第8号　別刷　　手術手技　1085-1090
6. 木村祐太、硲彰一、井上由佳、鈴木伸明、上野富雄、永野浩昭　腹腔鏡下直腸前方切除術におけるmodified double stapling technique (mDST) の有用性　手術　第70巻　第9号　別刷　　手術手技　1245-1249
7. 久保秀文、長岡知里、木村祐太、河岡徹、宮原誠、清水良一、山下吉美、長島由紀子、山本滋、永野浩昭　神経内分泌型非浸潤性乳管癌2例の治療経験　山口医学別冊　第65巻　第4号　症例報告　173-179
8. 木村祐太、鈴木伸明、友近忍、井上由佳、田中宏典、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田茂、上野富雄、山本滋、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭　局所制御目的に原発巣の姑息的拡大切除を行った切除不能進行 S 状結腸癌の 1 例　癌と化学療法　第43巻　第12号　1724－1726
9. 藤原康弘、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、松隈聰、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、鈴木伸明、武田茂、上野富雄、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭　肝原発 Mucosa-Associated Lymphoid Tissue（MALT）リンパ腫の 2 切除例　癌と化学療法　第43巻　第12号　1794－1796
10. 田中宏典、鈴木伸明、友近忍、井上由佳、桑原太一、坂本和彦、武田茂、上野富雄、山本滋、沖田朋子、吉本聖、吉野茂文、硲彰一、武藤正彦、永野浩昭　大臀筋付き後大腿皮弁で再建した直腸癌フルニエ壊疽の1例　癌と化学療法　第43巻　第12号　1821－1823
11. 藤本拓也、上野富雄、坂本和彦、松隈聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、武田茂、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭　GEM＋nab-PTX による術前化学療法が奏効した Borderline Resectable (BR)　膵癌の 1 切除例　癌と化学療法　第43巻　第12号　1978－1981
12. 西山光郎、武田茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、徳光幸生、友近忍、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本滋、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭　根治的化学放射線療法で CR が得られた皮下膿瘍を伴う異時性頸部食道癌の1例　癌と化学療法　第43巻　第12号　2004－2006
13. 徳久晃弘、武田茂、兼清信介、西山光郎、北原正博、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本滋、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭　術前確定診断が得られなかった食道粘膜下腫瘍に対して胸腔鏡下腫瘍核出術を施行した1例　癌と化学療法　第43巻　第12号　2175－2177
14. 桑原太一、徳久善弘、鈴木伸明、友近忍、井上由佳、田中宏典、西山光郎、兼清信介、飯田通久、坂本和彦、武田茂、上野富雄、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭　広範な腹壁膿瘍を形成した上行結腸癌に対して二期的根治切除を施行し得た1 例　癌と化学療法　第43巻　第12号　2341－2343
15. 千々松日香里、松井洋人、飯田通久、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田茂、上野富雄、山本滋、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭　分子標的薬と TAE により長期に腫瘍制御が得られた再発十二指腸 GIST の 1 例　癌と化学療法　第43巻　第12号　2362－2364
16. 新藤芳太郎、硲彰一、岡正朗　免疫チェックポイント　コンセンサス癌治療2016　第14巻　第3号　へるす出版　173
17. 大橋朋史、富丸慶人、丸橋繁、友國晃、浅岡忠史、和田浩志、江口英利、土岐祐一郎、森正樹、永野浩昭　脳死肝移植術施行までに登録後11年を要した Budd-Chiari 症候群の1例　日本消化器外科学会雑誌　2016年　185-191
18. 江川裕人、尾形哲、山本雅一、高原武志、若林剛、藤山泰二、高田泰次、保田裕子、八木孝仁、岡島英明、海道利実、上本伸二、伊藤孝司、吉村了勇、吉住朋晴、調憲、前原喜彦、阪本靖介、猪股裕紀洋、篠田昌宏、板野理、北川雄光、川岸直樹、石山宏平、井出健太郎、大段秀樹、水野修吾、伊佐地秀司、浅岡忠史、永野浩昭、梅下浩司、日高匡章、江口晋、小倉靖弘　Rituximab 投与 ABO 血液型不適合生体肝移植における安全性と有効性に関する後方視的調査研究　移植　Vol.50 , No.1　62-77
19. 中島 正夫, 硲 彰一, 鈴木 伸明, 井上 由佳, 吉野 茂文, 永野 浩昭　手術手技　下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清術リンパ節転移度に応じた自律神経温存と拡大郭清の手技とコツ(解説)　手術 70巻3号 309-315

国際学会発表・司会

2016 Asian Pacific Association for the Study of the Liver (APASL) 2/20-2/24 Tokyo, Japan

1. Nagano H. Transplantation Chairman

Transplantation Science Symposium（TSS） Asian Regional Meeting 2016 4/8-4/9 Tokyo, Japan

1. Nagano H. Session8 Liver-Antibody mediated rejection Chairman

2016 ASCO Annual Meeting 6/3-6/7 Chicago, USA

1. Hazama S, Tanaka H, Inoue Y, Kanekiyo S, Shindo Y, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Yamamoto S, Yoshino S, Nakamura Y, Sugiura F, Okuno K, Fujita T, Kawakami Y, Nagano H Novel biomarkers for immunotherapy: from the results of phase I and II study of five therapeutic peptidesfor advanced colorectal cancer

The International Convention Center of BARCELONA, SPAIN 6/29-7/2 Barcelona, Spain

1. Yoshino S, Nishimura T, Sakata K, Yoshida S, Furuya T, Yamamoto T, Kawaoka T, Shimizu R, Sato T, Matoba K, Morioka H, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Hazama S, Nagano H A phase Ⅱ study of a combination treatment of alternate-day S-1 and lentinan as first-line chemotherapy for unresectable or recurrent gastric cancer, Poster Session

The 7th Asia-Pacific Primary Liver Cancer Expert Meeting (APPLE 2016) 7/8-7/10 Hong Kong

1. Nagano H. Session10 Surgical Treatment Chairman

International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists 8/3 Miyagi, Japan

1. Nagano H. Poster Presentation (Oncology) Chairman

The Joint Conference of the 47th annual meeting of the Japan Pancreas Society (JPS) 8/4-8/7 Miyagi, Japan

1. Ueno T, Sakamoto K, Iida M, Suzuki N, Shindo Y, Matsui H, Tokumitsu Y, Matsukuma S, Fujimoto T, Nakajima M, Takeda S, Yamamoto S, Yoshino S, Hazama S, Oka M, Nagano H Development of suture-assistance devices that facilitate pancreaticojejunostomy : outcomes of early clinical study, Symposium

ISDE2016 15th International Society for Diseases of the Esophagus World Congress 9/19-21 Singapore

1. Kanekiyo S, Hazama S, Iida M, Kitahara M, Nishiyama M, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Yoshino S, Nagano H Usefulness of intraoperative recurrent laryngeal nerve monitoring during thoracoscopic esophagectomy Poster Session
2. Yoshino S, Hazama S, Iida M, Kanekiyo S, Kitahara M, Nakajima M, Nishiyama M, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Nagano H Secreted protein acidic and rich in cysteine (SPARC) is a good prognostic marker in esophageal squamous cell carcinoma Poster Session

24rd United European Gastroenterology Week Vienna 2016 10/17-10/19 Austria

1. Tsunedomi R, Hazama S, Okayama N, Inoue Y, Suzuki N, Sakamoto K, Iida M, Takeda S, Ueno T, Yamamoto S, Yoshino S, Nagano H Identification of the irinotecan toxicity related variants by whole exome sequencing analysis Poster Session

40th World Congress of the International College of Surgeons

62nd Annual Congress of the International College of Surgeons Japan Section 10/23-10/26 Kyoto, Japan

1. Nagano H. Sponsored Workshop Chairman
2. Nagano H. Oral 12 Liver & Biliary Tract 4 Chairman
3. Matsui H, Ueno T, Fujimoto T, Matsukuma S, Tokumitsu Y, Tokuhisa Y, Sakamoto K, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Nagano H The clinical efficacy of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine/nab-paclitaxel for borderline resectable pancreatic carcinoma; report of three cases Oral Session
4. Tanaka H, Suzuki N, Tomochika S, Inoue Y, Sakamoto K, Takeda S, Ueno T, Yamamoto S, Yoshino S, Hazama S, Nagano H Standardized laparoscopic lateral pelvic lymph node dissection for advanced low rectal cancer Oral Session
5. Maeda N, Yoshimura K, Yamamoto S, Sekiya M, Nakasuga C, Sato Y, Nishiyama M, Suzuki N, Takeda S, Ueno T, Nagano H Expression of B7-H3 which is a potential factor of tumor immune evasion in combination with the number of regulatory T cells affects against recurrence free survival in breast cancer patients Poster
6. Tokumitsu Y, Sakamoto K, Matsui H, Matsukuma S, Tokuhisa Y, Ueno T, Wada H , Eguchi H, Kobayashi S, Nagano H Development and evaluation of a novel prognostic staging system for hepatocellular carcinoma: the mathematical integrated model for tumor staging (MITS) score Poster
7. Nishiyama M, Iida M, Takeda S, Kitahara M, Kanekiyo S, Ueno T, Yamamoto S , Yoshino S, Hazama S, Nagano H Clinocopathological features and surgical strategy of advanced remnant gastric cancer after distal gastrectomy Poster
8. Nagano H The efficacy of fibrin sealant with polyglycolic acid feit at the liver cut surface for prevention of postoperative bile leakage and hemorrhage Work Shop

国内学会発表・司会

第84回大腸癌研究会 1/15 熊本

1. 井上由佳、硲　彰一、鈴木伸明、永野浩昭　当科における腹腔鏡下内肛門括約筋切除術（ISR）の検討　一般演題
2. 鈴木伸明、末広　寛、硲　彰一、井上由佳、新藤芳太郎、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、岡山直子、松本俊彦、山崎隆弘、永野浩昭　便検体を用いた長鎖断片DNA (Long DNA)による大腸癌スクリーニングの可能性

第52回日本腹部救急医学会総会 3/3-3/4 東京

1. 永野浩昭 要望演題5　消化器癌術後合併症（肝胆膵） 司会
2. 上野富雄 一般演題25　小腸（その他）　司会
3. 松隈　聰、上野富雄、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　70 年前から保存していた硝酸を服毒した一例　一般演題
4. 木村祐太、上野富雄、武田　茂、松井洋人、鈴木伸明、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　特異なCT所見を呈した急性虫垂炎の一例　一般演題
5. 井上由佳、上野富雄、鈴木伸明、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　横行結腸双口式人工肛門の脱出嵌頓に対し腹腔鏡下に整復を行った一例　一般演題
6. 西山光郎、徳久善弘、田中宏典、来嶋大樹、井上由佳、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　上行結腸癌の穿破による腹壁膿瘍に対し2期的手術及びVAC療法にて加療した1例　一般演題
7. 桑原太一、上野富雄、鈴木伸明、田中宏典、井上由佳、硲　彰一、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭　直腸癌に伴うフル二工壊疽の1例　一般演題
8. 徳久晃弘、上野富雄、松隈　聰、武田　茂、佐村　誠、上田晃志郎、森景則保、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、濱野公一、永野浩昭 塩酸パパベリンおよびファスジル塩酸塩の持続動注が奏効した非閉塞性腸間膜虚血症の一例　一般演題

第15回日本再生医療学会総会　3/17-3/19　大阪

1. 藤本拓也、上野富雄、来嶋大樹、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　ブタ小腸粘膜下組織（small intestinal submucosa: SIS）を用いた消化管再生　一般演題

第49回制癌剤適応研究会　3/25　福島

1. 鈴木伸明、硲　彰一、井上由佳、新藤芳太郎、松井洋人、竹之内寛子、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、玉田耕治、永野浩昭　大腸癌ペプチドワクチン療法におけるバイオマーカーの解析と新たな複合免疫療法の構築　シンポジウム

第43回日本膵・膵島移植研究会 3/4-3/5 広島

1. 永野浩昭 一般演題　膵臓　合併症 司会

第88回日本胃癌学会総会 3/17-3/19 大分

1. 吉野茂文 ポスター2-48 症例報告16 司会
2. 飯田通久、吉野茂文、武田　茂、西山光郎、北原正博、兼清信介、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭 幽門側胃切除術後残胃癌の臨床病理学的特徴と治療戦略　ポスター
3. 吉野茂文、飯田通久、兼清信介、北原正博、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭　腹腔鏡下胃全摘術D1+郭清における胃挙上法による脾動脈近位部から左側腹腔動脈周囲リンパ節郭清の工夫　ビデオポスター

第116回日本外科学会定期学術集会 4/14-4/16 大阪

1. 永野浩昭　パネルディスカッション（11）　「進行肝癌（門脈内腫瘍栓，両葉多発）に対する治療戦略の最前線」 司会
2. 硲　彰一　一般演題（48）「大腸 高齢者・予後」 司会
3. 上野富雄、藤本拓也、来嶋大樹、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　小腸粘膜下組織（small intestinal submucosa：SIS）を用いた消化管再生医療　シンポジウム
4. 前田訓子、吉村　清、西山光郎、北原正博、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、筒井理仁、山本　滋、永野浩昭　乳癌患者におけるTim-3 と Galectin-9 の発現と予後に関する検討　一般演題
5. 田中宏典、硲　彰一、来嶋大樹、松隈　聰、北原正博、松井洋人、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、新藤芳太郎、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、橋本真一、坂井田功、永野浩昭　クローン病手術症例における CT enterography の有用性　一般演題

6. 吉野茂文、飯田通久、西山光郎、北原正博、兼清信介、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、硲　彰一、永野浩昭　進行胃癌に対する腹腔鏡補助下幽門側胃切除術 D2 郭清の短期および長期臨床成績　一般演題
7. 鈴木伸明、硲　彰一、井上由佳、中島正夫、田中宏典、来嶋大樹、北原正博、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭　下部直腸癌側方リンパ節転移を伴う症例に対する当科の治療戦略　一般演題
8. 筒井理仁、山本　滋、前田訓子、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　HER2 陽性乳癌における PD 1 陽性細胞と予後の関連　一般演題
9. 硲　彰一、鈴木伸明、井上由佳、兼清信介、松井洋人、中島正夫、新藤芳太郎、来嶋大樹、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、杉浦史哲、奥野清隆、河上　裕、玉田耕治、間野博行、中村祐輔、永野浩昭　大腸がんペプチドワクチン療法における負の免疫機構解明と新たな複合免疫療法の開発戦略　一般演題
10. 松井洋人、硲　彰一、上野富雄、中島正夫、松隈　聰、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、藤田知信、河上　裕、永野浩昭 膵癌術後補助療法としての MUC1-CTL 療法の治療成績と免疫抑制細胞に関する検討　ポスターセッション
11. 山本　滋、筒井理仁、前田訓子、西山光郎、北原正博、井上由佳、兼清信介、徳光幸生、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　乳癌センチネルリンパ節におけるソナゾイド造影超音波所見の検討　ポスターセッション
12. 松隈　聰、坂本和彦、田辺昌寛、中尾　聖、中島正夫、藤本拓也、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、徳久善弘、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、松永尚文、永野浩昭　EOB-MRI を用いた肝細胞癌の病理学的脈管侵襲の治療前予測　ポスターセッション
13. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、松隈　聰、松井洋人、新藤芳太郎、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　当科における高度進行肝細胞癌に対する治療成績　ポスターセッション
14. 北原正博、硲　彰一、鈴木伸明、田中宏典、井上由佳、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、筒井理仁、恒富亮一、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、飯塚徳男、永野浩昭 大腸癌患者における末梢血液中 cell free DNA integrity　ポスターセッション
15. 西山光郎、武田　茂、北原正博、兼清信介、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 反回神経リンパ節術中迅速病理診断に基づいた胸部中部，下部食道癌に対する至適リンパ節郭清の検討　ポスターセッション
16. 武田　茂、吉野茂文、北原正博、西山光郎、兼清信介、飯田通久、上野富雄、山本　滋、硲　彰一、永野浩昭 食道胃接合部癌における至適リンパ切郭清の検討　ポスターセッション
17. 藤原康弘、硲　彰一、井上由佳、竹之内寛子、中島正夫、新藤芳太郎、松井洋人、鈴木伸明、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、田中浩昭、杉浦史哲、奥野清隆、藤田知信、河上　裕、永野浩昭　進行再発大腸癌に対する化学療法（FOLFOX）が免疫能におよぼす影響の検討　ポスターセッション
18. 藤本拓也、吉野茂文、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、硲　彰一、永野浩昭 高齢者手術における術後譫妄危険因子と Sugammadex の譫妄予防効果の検討　ポスターセッション
19. 飯田通久、吉野茂文、武田　茂、西山光郎、松井洋人、北原正博、兼清信介、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本　滋、硲　彰一、永野浩昭　腹腔鏡補助下幽門側胃切除術に内臓脂肪面積がおよぼす影響について ポスターセッション
20. 千々松日香里、上野富雄、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、坂本和彦、山本　滋、武田茂、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　当科における膵神経内分泌腫瘍（PNET）の検討 ポスターセッション
21. 中島正夫、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松隈　聰、松井洋人、新藤芳太郎、藤本拓也、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 完全鏡視下肝切除術に対するDifficulty scoring system の妥当性評価　ポスターセッション
22. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈　聰、中島正夫、新藤芳太郎、松井洋人、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　当科における高難度腹腔鏡下肝切除の手術成績　ポスターセッション
23. 徳光幸生、坂本和彦、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、新藤芳太郎、松井洋人、徳久善弘、爲佐卓夫、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　ソフト凝固 2 台併用法による完全鏡視下肝 S7.8 部分切除　ポスターセッション
24. 兼清信介、武田　茂、中島正夫、西山光郎、北原正博、前田訓子、飯田通久、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 胸部食道癌における SPARC 発現と臨床的意義の検討　ポスターセッション
25. 井上由佳、硲　彰一、中島正夫、田中宏典、松井洋人、新藤芳太郎、兼清信介、徳光幸生、鈴木伸明、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭　当科における StageII/III 大腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績　ポスターセッション
26. 来嶋大樹、硲　彰一、井上由佳、兼清信介、新藤芳太郎、徳光幸生、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭 高齢者大腸癌手術の安全性の検討　ポスターセッション

第102回日本消化器病学会総会 4/21-4/23 東京

中尾光宏，上野富雄，吉野茂文，硲　彰一，岡　正朗　ブタ小腸粘膜下層（SIS）を用いた小腸再生の評価　口演

第37回癌免疫外科研究会 5/12-5/13 埼玉

1. 鈴木伸明 シンポジウム 1［主題Ⅰ］免疫抑制機構 司会
2. 硲　彰一 ワークショップ 1　炎症・免疫・栄養 司会
3. 永野浩昭 一般演題（口演）3　集学的治療 司会
4. 硲　彰一、井上由佳、新藤芳太郎、兼清信介、鈴木伸明、松井洋人、中島正夫、竹之内寛子、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、杉浦史哲、奥野清隆、藤田知信、河上　裕、中村祐輔、永野浩昭　抗 EGFR 抗体による癌局所へのリンパ球誘導と新規複合免疫療法の開発　シンポジウム
5. 松井洋人、硲　彰一、中島正夫、松隈　聰、井上由佳、徳光幸生、新藤芳太郎、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭　肝細胞癌（HCC）に対する HSP70 mRNA 導入樹状細胞療法　ワークショップ
6. 兼清信介、硲　彰一、竹之内寛子、井上由佳、松井洋人、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、杉浦史哲、奥野清隆、河上　裕、伊東恭吾、永野浩昭　進行再発大腸癌に対するペプチドワクチン療法における抗ペプチド抗体の誘導と予後解析　ワークショップ
7. 鈴木伸明、硲　彰一、新藤芳太郎、竹之内寛子、中島正夫、井上由佳、松井洋人、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、田中浩明、有賀　淳、石崎秀信、楳田祐三、島田光生、吉松和彦、奥野清隆、藤田知信、河上　裕、永野浩昭　切除不能・再発膵癌に対する標準治療＋新規ペプチドワクチン療法第 I/II 相試験における効果予測バイオマーカーの探索　ワークショップ
8. 井上由佳、硲　彰一、竹之内寛子、兼清信介、新藤芳太郎、飯田通久、鈴木伸明、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、田村賢司、山口　類、井元清哉、宮野　悟、清谷一馬、中村祐輔、永野浩昭 切除不能進行大腸癌患者における組織および血液中の T 細胞レパートリーの解析　一般演題（ポスター）
9. 来嶋大樹、硲　彰一、恒富亮一、井上由佳、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、杉浦史哲、奥野清隆、河上　裕、永野浩昭　ペプチドワクチン療法効果予測バイオマーカーとしての血中新規 miR の探索　一般演題（ポスター）
10. 北原正博、硲　彰一、恒富亮一、中島正夫、田中宏典、来嶋大樹、井上由佳、松井洋人、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、杉浦史哲、奥野清隆、河上　裕、永野浩昭 ペプチドワクチン療法効果予測バイオマーカーとしての血中 cell-free DNA integrity　一般演題（ポスター）
11. 田中宏典、硲　彰一、来嶋大樹、北原正博、松井洋人、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、新藤芳太郎、恒富亮一、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、奥野清隆、河上　裕、永野浩昭　miRNA 発現解析に基づく大腸癌免疫療法の治療効果予測～Laser capture microdissection 法による癌細胞・間質細胞分離の応用～　一般演題（ポスター）
12. 吉野茂文、兼清信介、武田　茂、中島正夫、西山光郎、北原正博、前田訓子、飯田通久、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭 食道癌における SPARC 発現と臨床的意義の検討　一般演題（ポスター）
13. 中島正夫、吉野茂文、田中宏典、北原正博、来嶋大樹、井上由佳、松井洋人、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、硲彰一、永野浩昭 腫瘍周囲間質の SPARC 高発現は胃癌の予後良好因子である　一般演題（ポスター）

第52回日本肝臓学会総会 5/19-5/20 千葉

1. 永野浩昭 セッション55　肝癌・臨床 8　司会
2. 徳光幸生、坂本和彦、中島正夫、松井洋人、松隈　聰、新藤芳太郎、徳久善弘、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、飯塚徳男、和田浩志、後藤邦仁、江口英利、永野浩昭　肝細胞癌術後患者の予後予測システム MITS score の有用性の検証 一般演題口演

第70回手術手技研究会 5/21 東京

1. 中島正夫、硲　彰一、鈴木伸明、井上由佳、兼清信介、新藤芳太郎、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭 定型化された下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清術　サージカフォーラム
2. 上野富雄、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈　聰、中島正夫、藤本拓也、鈴木伸明、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 膵頭十二指腸切除術（PD）におけるエネルギーデバイスを用いた膵頭神経叢の切離とそのポイント　サージカルフォーラム
3. 徳光幸生、坂本和彦、松隈　聰、新藤芳太郎、松井洋人、徳久善弘、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 ソフト凝固 2 台併用法による完全腹腔鏡下肝切除術とその治療成績　サージカルフォーラム

第28回日本内分泌外科学会総会 5/26-5/27 神奈川

1. 山本　滋、筒井理仁、前田訓子、松本洋明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 肉眼的血尿を繰り返した甲状腺癌腎転移の 1 例　　ポスター

第28回日本肝胆膵外科学会・学術集会 6/2-6/4 大阪

1. 上野富雄 一般ポスター演題 47　　胆道癌・その他1　 司会
2. 永野浩昭 国際ビデオシンポジウム 3 Surgical approach for HBP surgery; Major vessel resection and reconstruction in HBP surgery 司会
3. 坂本和彦 一般ポスター演題 85　　肝臓・悪性・術後合併症 司会
4. 上野富雄、坂本和彦、徳久善弘、新藤芳太郎、松井洋人、徳光幸生、松隈　聰、藤本拓也、中島正夫、桑原太一、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 当科における膵体尾部切除での膵液瘻防止のための工夫　　ビデオセッション
5. 徳光幸生、坂本和彦、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、新藤芳太郎、松井洋人、徳久善弘、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭　ソフト凝固2台併用法による腹腔鏡下肝S7.8部分切除　　ビデオセッション
6. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈　聰、中島正夫、 新藤芳太郎、松井洋人、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭　当科における門脈塞栓術症例の検討　　要望演題（ポスター）
7. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、桑原太一、 藤本拓也、松隈　聡、松井洋人、上野富雄、武田茂、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　Cチューブによる肝切除後胆汁漏予防についての検討　　要望演題（ポスター）
8. 藤本拓也、上野富雄、新藤芳太郎、中島正夫、松井洋人、松隈　聰、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、硲　彰一、永野浩昭 肝内胆管重積結石に対する載石法の工夫　　一般ポスター
9. 松隈　聰、坂本和彦、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、徳久善弘、上野富雄、硲彰一、永野浩昭 当科における肝内胆管癌に対する外科治療の現状　　一般ポスター
10. 松井洋人、上野富雄、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、坂本和彦、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 膵癌における門脈合併切除例の検討　　一般ポスター
11. 中島正夫、坂本和彦、藤本拓也、松隈　聰、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、徳久善弘、桑原太一、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 Difficulty scoring systemは完全鏡視下肝切除術における出血量と手術時間の指標となり得る　　一般ポスター
12. 桑原太一、坂本和彦、中島正夫、松隈　聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、徳久善弘、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭 肝門部胆管癌術後の挙上空腸静脈瘤出血に対するアプローチ　　一般ポスター

第38回日本癌局所療法研究会 6/10 東京

1. 木村祐太、鈴木伸明、井上由佳、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　局所制御目的に原発巣の拡大切除を行った切除不能進行 S 状結腸癌の 1 例　　一般演題
2. 藤原康弘、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、松井洋人、新藤芳太郎、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 肝原発 Mucosa associated lymphoid tissue（MALT）リンパ腫の 2 切除例　一般演題
3. 田中宏典、硲　彰一、桑原太一、松井洋人、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、新藤芳太郎、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、沖田朋子、吉本　聖、武藤正彦、永野浩昭　大臀筋付き後大腿皮弁で再建した直腸癌によるフルニエ壊疽の 1例　　一般演題
4. 藤本拓也、上野富雄、坂本和彦、松井洋人、新藤芳太郎、中島正夫、松隈　聰、徳光幸生、徳久善弘、鈴木伸明、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　GEM＋nabPTX による術前化学療法が奏効した Borderline resectable 膵癌の 1 切除例　　一般演題
5. 西山光郎、武田　茂、北原正博、兼清信介、飯田通久、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　根治的化学放射線療法で CR が得られた、皮下膿瘍を伴う異時性頸部食道癌の一例　　一般演題
6. 徳久晃弘、武田　茂、兼清信介、西山光郎、北原正博、飯田通久、坂本和彦、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 術前確定診断が得られなかった食道粘膜下腫瘍に対して胸腔鏡下腫瘍核出術施行した1例　　ポスター
7. 桑原太一、徳久善弘、田中宏典、西山光郎、来嶋大樹、井上由佳、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭 広範な腹壁膿瘍を形成した上行結腸癌の1 例　　ポスター
8. 千々松日香里、松井洋人、吉野茂文、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、硲　彰一、永野浩昭　分子標的薬と TAE により長期に腫瘍制御が得られた再発十二指腸 GIST の 1 例　　ポスター

第41回日本外科系連合学会学術集会 6/15-17 大阪

1. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈　聰、中島正夫、新藤芳太郎、松井洋人、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 右葉切除後の門脈血栓症に対して肝円索アプローチによる血栓除去　ビデオワークショップ
2. 田中宏典、硲　彰一、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、新藤芳太郎、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭 後方浸潤を伴う直腸癌に対する仙骨合併切除術　ビデオセッション
3. 飯田通久、吉野茂文、武田　茂、西山光郎、北原正博、兼清信介、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本　滋、硲　彰一、永野浩昭 LADGにおける内臓脂肪面積の影響について　ポスター

第24回 日本乳癌学会学術総会 6/16-6/18 東京

1. 前田訓子、吉村　清、西山光郎、北原正博、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、筒井理仁、山本　滋、永野浩昭　乳癌微小環境におけるTim-3とGalectin-9の発現と予後に関する検討　ポスター
2. 松隈美和、古川又一、山本　滋、永野浩昭、松永尚文 肉芽腫性乳腺炎の2例－乳腺超音波、MRI 所見を中心に　ポスター
3. 山本　滋、前田訓子、長島由紀子、前田和成、久保秀文、松井洋人、井上由佳、新藤芳太郎、筒井理仁、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 転移・再発乳癌に対する低用量アブラキサン療法の治療継続性の検討　ポスター

第85回大腸癌研究会 7/1 大阪

1. 井上由佳、鈴木伸明、硲　彰一、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭　進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術の成績 示説

第52回日本肝癌研究会 7/1-7/2 東京

1. 永野浩昭 ワークショップ 7　多発肝癌をどう治療するか？ 司会
2. 徳光幸生、坂本和彦、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松井洋人、松隈　聰、徳久善弘、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、和田浩志、後藤邦仁、江口英利、友國　晃、小林省吾、永野浩昭　肝細胞癌術後患者の新規予後予測システム―MITS score―　パネルディスカッション
3. 松井洋人、硲　彰一、坂本和彦、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭 肝細胞癌（HCC）に対する HSP70-mRNA 導入樹状細胞療法　一般演題（口演）
4. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈　聰、中島正夫、新藤芳太郎、松井洋人、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭 再肝切除症例に対する腹腔鏡下アプローチの妥当性　一般演題　（口演）
5. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、松隈　聰、松井洋人、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　当科における高度脈管侵襲を伴う肝細胞癌に対する治療成績　一般演題　（口演）
6. 桑原太一、坂本和彦、上野富雄、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、松井洋人、新藤芳太郎、鈴木伸明、武田　茂、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 経皮的ラジオ波焼灼療法術後 7 年目に再発した混合型肝癌の 1 例　一般演題（ポスター）
7. 藤本拓也、坂本和彦、上野富雄、桑原太一、中島正夫、松隈　聰、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、武田　茂、鈴木伸明、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　細胆管細胞癌の 2 切除例　一般演題（ポスター）
8. 松隈　聰、坂本和彦、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松井洋人、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 多発肝癌（BCLC intermediate stage）に対する肝切除の意義と適応　ワークショップ
9. 中島正夫、坂本和彦、桑原太一、藤本拓也、松隈　聰、新藤芳太郎、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 SVR 後肝癌の臨床病理学的特徴および切除成績　一般演題　（口演）

第34回日本肝移植研究会 7/7-7/8 北海道

1. 永野浩昭 教育講演2　分割肝移植の現況 11 司会

第70回日本食道学会学術集会 7/4/7/6 東京

1. 吉野茂文、武田茂、兼清信介、西山光郎、北原正博、飯田通久、上野富雄、山本滋、硲彰一、永野浩昭 胸腔鏡下食道切除術における術中反回神経モニタリングの有用性　パネルディスカッション
2. 北原正博、武田茂、吉野茂文、西山光郎、兼清信介、飯田通久、上野富雄、山本滋、硲彰一、永野浩昭 食道粘膜下腫瘍の治療戦略　ワークショップ
3. 武田茂、吉野茂文、西山光郎、北原正博、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、上野富雄、硲彰一、永野浩昭 胸部食道癌における周術期チーム医療の導入についての検討　一般演題（ポスター）
4. 西山光郎、武田茂、北原正博、兼清信介、飯田通久、上野富雄、山本滋、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭 当科における食道癌術後再発症例の検討　一般演題（ポスター）
5. 兼清信介、武田茂、西山光郎、北原正博、飯田通久、上野富雄、山本滋、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭 当科における特殊型食道癌の治療～食道神経内分泌癌 6 例の検討～　一般演題（ポスター）

第71回日本消化器外科学会総会 7/14-7/16 徳島

1. 吉野茂文 ワークショップ3 消化器外科におけるERASの工夫 ワークショップ　司会
2. 硲　彰一 ワークショップ 5 消化器外科領域における最新のトランスレーショナルリサーチ ワークショップ　司会
3. 永野浩昭 ワークショップ 19 Multidisciplinary treatment of advanced hepatocellular carcinoma with tumor thrombus ワークショップ　司会
4. 井上由佳 一般演題（ポスター）　大腸：鏡視下手術 3 若手座長
5. 坂本和彦 一般演題（ポスター）　膵臓：手術術式 2 モデュレーター
6. 兼清信介 一般演題（ポスター）　食道：術後合併症 2 若手座長
7. 吉野茂文、飯田通久、兼清信介、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、硲　彰一、永野浩昭　幽門側胃切除術後再建法としての hemi-double staplingmethod 500 例から見えてきた将来展望　ワークショップ
8. 鈴木伸明、硲　彰一、松井洋人、新藤芳太郎、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、玉田耕治、永野浩昭　消化器外科領域における次世代型がんペプチドワクチンの開発と展望　ワークショップ
9. 恒富亮一、硲　彰一、岡山直子、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭　Whole Exome Sequencing 解析により同定された新たなイリノテカン副作用関連遺伝子多型　ワークショップ
10. 飯田通久、吉野茂文、西山光郎、北原正博、兼清信介、武田　茂、上野富雄、山本滋、硲　彰一、永野浩昭　幽門側胃切除術後進行残胃癌の臨床病理学的特徴とその治療戦略　ワークショップ
11. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭 Immunotherapy with HSP70 mRNA transfected dendritic cells for hepatocellular carcinoma.　ワークショップ
12. 中島正夫、硲　彰一、鈴木伸明、井上由佳、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭　下部進行直腸癌に対する定型化された腹腔鏡下側方リンパ節郭清術～手技のポイントと短期成績～　一般演題（ビデオ）
13. 北原正博、武田　茂、吉野茂文、西山光郎、兼清信介、飯田通久、上野富雄、山本　滋、硲　彰一、永野浩昭　食道粘膜下腫瘍の治療戦略　一般演題（ポスター）
14. 井上由佳、硲　彰一、田中宏典、鈴木伸明、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭　当科における腹腔鏡下内肛門括約筋切除術 (ISR) の検討　一般演題（ポスター）
15. 千々松日香里、井上由佳、硲　彰一、中島正夫、兼清信介、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭　当科における Stage II, III 進行大腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績　一般演題（ポスター）
16. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、松隈　聡、松井洋人、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　3cm 以下単発肝細胞癌に対する傾向スコア解析を用いた術式別長期成績の検討　一般演題（ポスター）
17. 松隈　聰、吉村　清、小賀厚徳、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、長岡慧、江口英利、伊藤浩史、永野浩昭　膵癌組織における Calreticulin の発現は切除可能膵癌の予後と関連している.　一般演題（ポスター）
18. 徳久晃弘、武田　茂、兼清信介、西山光郎、北原正博、飯田通久、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 当科における食道神経内分泌癌 6 例の検討　一般演題（ポスター）
19. 田中宏典、硲　彰一、来嶋大樹、井上由佳、恒富亮一、飯田通久、鈴木伸明、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭　miRNA 発現解析に基づく大腸癌免疫療法の治療効果予測～LCM 法による癌細胞・間質細胞分離の応用～　一般演題（ポスター）
20. 木村祐太、硲　彰一、井上由佳、兼清信介、中島正夫、新藤芳太郎、鈴木伸明、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭　当科における腹腔鏡下直腸前方切除術の工夫と縫合不全例の検討　一般演題（ポスター）

21. 藤本拓也、上野富雄、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　膵体尾部に限局した膵腫瘍に対する至適リンパ節郭清の検討　　一般演題（ポスター）
22. 藤原康弘、武田　茂、松田憲昌、坂本和彦、鈴木伸明、若松弘也、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　消化器外科領域における ICU 長期入室患者に関する検討　　一般演題（ポスター）
23. 武田　茂、吉野茂文、兼清信介、北原正博、西山光郎、飯田通久、上野富雄、山本　滋、硲　彰一、永野浩昭　食道癌周術期リハビリテーションの検討　　一般演題（ポスター）
24. 来嶋大樹、硲　彰一、恒富亮一、井上由佳、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭　転移性・進行大腸癌のワクチン療法における効果予測のバイオマーカーとしての血漿 miRNA の検討　　一般演題（ポスター）
25. 桑原太一、坂本和彦、新藤芳太郎、徳光幸生、徳久善弘、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 肝門部胆管癌術後に生じた挙上空腸静脈瘤の破裂による消化管出血の 2 例　　一般演題（ポスター）
26. 上野富雄、藤本拓也、来嶋大樹、鈴木伸明、武田　茂、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　幹細胞と小腸組織工学による消化管再生医療とその臨床応用　　一般演題（ポスター）
27. 中須賀千代、林　秀知、山本常則、川本浩史、野田智宏、河村祐一郎、吉本裕紀、藤川貴久、田中　明　当科における成人腸重積症手術 14 例の検討　　一般演題（ポスター）

第20回日本がん免疫学会総会 7/27-7/29 大阪

1. 藤田知信、野路しのぶ、南雲春菜、岡本正人、桜井敏晴、中面哲也、松枝智子、伊東恭悟、竹之内寛子、硲　彰一、岡　正朗、河上　裕　がん免疫療法の血液バイオマーカー　　ワークショップ
2. 硲　彰一、鈴木伸明、友近　忍、井上由佳、松井洋人、田中宏典、中島正夫、永野浩昭　大腸がんペプチド療法における免疫病態解析と次世代型がん複合免疫・ペプチド療法の構築と臨床展開　　シンポジウム
3. 狩野洋輔、井口貴博、松井洋人、安達圭志、佐古田幸美、宮川知也、土肥　俊、硲　彰一、永野浩昭、上山吉哉、玉田耕治 poly(I:C) と LAG-3-Ig の併用アジュバントによる腫瘍特異的 T 細胞疲弊の阻害と抗腫瘍効果の検討　　一般演題
4. 松井洋人、硲　彰一、玉田耕治、宇高恵子、中島正夫、松隈　聰、井上由佳、徳光幸生、新藤芳太郎、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭　肝細胞癌（HCC）に対する HSP70-mRNA 導入樹状細胞療法と新規エピトープペプチドの探索　　一般演題
5. 田中宏典、硲　彰一、松井洋人、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、新藤芳太郎、恒富亮一、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、奥野清隆、河上　裕、永野浩昭 miRNA 発現解析に基づく大腸癌免疫療法の治療効果予測～ Laser capture microdissection 法による癌細胞・間質細胞分離の応用～　　一般演題
6. 中島正夫、硲　彰一、井上由佳、兼清信介、松井洋人、桑原太一、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、藤田知信、河上　祐、奥野清隆、永野浩昭　大腸癌ペプチドワクチン療法における治療効果予測マーカーの検討　　一般演題
7. 鈴木伸明、硲　彰一、新藤芳太郎、竹之内寛子、中島正夫、井上由佳、松井洋人、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、田中浩明、有賀　淳、石崎秀信、楳田祐三、島田光生、吉松和彦、奥野清隆、藤田知信、河上　裕、永野浩昭　バイオマーカーによる膵癌ペプチド療法の効果予測　　一般演題

第14回日本臨床腫瘍学会学術集会 7/28-7/30 兵庫

1. 吉野茂文、西村　拓、坂田晃一朗、吉田　晋、古谷卓三、河岡　徹、山本達人、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭　切除不能・再発胃癌に対する S-1 隔日投与＋レンチナン併用療法の第Ⅱ相臨床試験　　一般口演
2. 宮本真里子、久山彰一、國次葉月、園山好恵、佐々木秀法、吉野茂文、上岡　博　山口県における外来化学療法施行及び静脈穿刺におけるアンケート結果　　ポスター
3. 塚原邦浩、長島由紀子、尾﨑誠一、隅田章弘、園山好恵、松久哲章、植松俊成、久山彰一、吉野茂文、上岡　博　外来化学療法曝露対策に関するアンケート報告　　ポスター

平成28年度日本肝臓学会教育講演会（単独開催） 8/7 大阪

1. 永野浩昭 セッション４　8. 肝移植 111 教育講演

第43回日本膵切研究会 8/19-8/20 東京

1. 松井洋人、上野富雄、桑原太一、藤本拓也、松隈　聰、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、武田　茂、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　当科におけるBorderline resectable 膵癌に対する術前ゲムシタビン+ナブパクリタキセル療法の経験 ポスター
2. 藤本拓也、上野富雄、坂本和彦、松井洋人、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 膵尾部に限局した膵腫瘍に対する至適リンパ節郭清の検討　ポスター

第44回日本臨床免疫学会総会 9/8-9/10 東京

1. 硲　彰一、玉田耕治、奥野清隆、間野博行、宇高恵子、河上　裕、永野浩昭　抑制性免疫の解析によるその制御法や有効例選択バイオマーカーの探索と変異遺伝子を標的とする複合がん免疫療法の開発　シンポジウム

第27回日本消化器癌発生学会総会 9/15-9/16 鹿児島

1. 永野浩昭　一般演題　口演5　肝・胆道・膵② 司会
2. 恒富亮一、松隈　聰、坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　肝転移能亢進を示す癌幹細胞様細胞におけるCD44 isoformsの発現　企画関連口演
3. 松隈　聰、吉村　清、小賀厚徳、井上萌子、倉増敦朗、布施雅規、渡邊裕策、恒富亮一、長岡　慧、江口英利、松井洋人、徳光幸生、徳久善弘、坂本和彦、近藤智子、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、伊藤浩史、永野浩昭　膵癌幹細胞様細胞に高発現する分子の同定と同分子の臨床的意義に関する検討　一般演題
4. 飯田通久、恒富亮一、田中宏典、兼清信介、徳久善弘、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、硲　彰一、吉野茂文、永野浩昭 癌間質におけるmiR221およびmiR222過剰発現は大腸癌の悪性度と相関する　一般演題

第11回肝癌治療シミュレーション研究会 9/17 大阪

1. 永野浩昭　一般演題2　肝静脈と前区域 司会
2. 徳久善弘、坂本和彦、徳光幸生、松隈　聡、中島正夫、松井洋人、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 当科における門脈塞栓術症例の検討　一般演題

第52回日本移植学会総会 9/29-10/1 東京

1. 永野浩昭 SNUC-LTプログラム共催臓器別ワークショップ6　肝；C型肝炎についてup to date　司会

第4回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会 10/6-10/7 千葉

1. 山本　滋、佐藤陽子、前田訓子、筒井理仁、藤本拓也、田中宏典、西山光郎、松井洋人、北原正博、井上由佳、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭　乳房温存手術に用いる乳腺円状部分切除補助器具の使用経験　一般口演

第75回日本癌学会学術総会 10/6-10/8 神奈川

1. 永野浩昭　Japanese Oral Sessions　がん幹細胞 (1) 司会
2. 硲　彰一 ポスターセッション　免疫療法 (1)　司会
3. 恒富亮一、松隈　聰、兼清信介、吉村　清、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　肝細胞癌幹細胞様Sphere細胞における転移能亢進及びCD44 アイソフォーム発現　一般口演英語セッション
4. 松隈　聰、吉村　清、上野富雄、小賀厚徳、井上萌子、倉増敦朗、布施雅規、恒富亮一、江口英利、松井洋人、吉野茂文、硲彰一、永野浩昭 Calreticulinは膵癌幹細胞様細胞に高発現し、膵癌患者の予後不良因子である　一般口演日本語セッション
5. 硲　彰一、恒富亮一、田中宏典、兼清信介、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭 Liquid biomarkers for immunotherapy: results from the analysis of phase II study of immune-chemotherapy against mCRC　一般口演英語セッション
6. 飯田通久、硲　彰一、恒富亮一、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭　癌間質におけるmiR221 およびmiR222の過剰発現は大腸癌の悪性度と相関する　ポスターセッション

第54回日本癌治療学会学術集会 10/20-10/22 神奈川

1. 永野浩昭　ワークショップ 40　胆道 2： 胆道がんの手術療法 司会
2. 山本　滋、佐藤陽子、筒井理仁、前田訓子、藤本拓也、田中宏典、西山光郎、松井洋人、北原正博、井上由佳、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭　乳癌の乳房温存手術に用いる乳腺円状部分切除補助器具の開発　ワークショップ
3. 吉野茂文、西村　拓、坂田晃一朗、吉田　晋、古谷卓三、山本達人、河岡　徹、清水良一、森岡秀之、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭　切除不能・再発胃癌に対するS-1隔日投与+レンチナン併用療法の第Ⅱ相臨床試験　ポスター
4. 永野浩昭、和田浩志、坂本和彦、江口英利 Surgical treatment for advanced hepatocellular carcinoma with inferior vena cava tumor thrombus　インターナショナルセッション
5. 硲　彰一、来嶋大樹、恒富亮一、飯田道久、田中宏典、井上由佳、兼清信介、中島正夫、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭　大腸癌ペプチド療法の効果を予測するバイオマーカーとしての末梢血マイクロRNAの役割　ミニシンポジウム

第１回日本臨床免疫腫瘍再生細胞療法（IOC)研究会 10/20 神奈川

1. 硲　彰一　免疫療法 特別講演

がん撲滅サミット2016 10/22 神奈川

1. 硲　彰一　「がん撲滅への期待！」において免疫治療等に関する解説・回答 座長

第46回胃外科・術後障害研究会 10/27-10/28 鳥取

1. 飯田通久、武田　茂、西山光郎、北原正博、兼清信介、上野富雄、山本　滋、硲彰一、吉野茂文、永野浩昭　当科における高齢者胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の成績　要望演題

JDDW2016第24回日本消化器関連学会週間 11/3-11/6 兵庫

1. 永野浩昭　デジタルポスターセッション(肝臓学会)　肝再生・基礎研究1 司会
2. 硲　彰一　デジタルポスターセッション(消化器外科学会)　大腸12　司会
3. 飯田通久、硲　彰一、永野浩昭 癌間質でのmiR221およびmiR222の過剰発現は大腸癌の悪性度と相関する ワークショップ
4. 永野浩昭　特別発言　ワークショップ
5. 武田　茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、徳久義弘、鈴木伸明、坂本和彦、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　食道胃接合部癌の外科的治療戦略　デジタルポスターセッション
6. 兼清信介、武田　茂、西山光郎、北原正博、飯田通久、鈴木伸明、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　食道癌術中反回神経モニタリングの有用性　デジタルポスターセッション
7. 松隈　聰、坂本和彦、田辺昌寛、中尾　聖、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、徳久善弘、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、松永尚文、永野浩昭　MRIを用いた肝細胞癌の病理学的脈管侵襲の治療前予測　デジタルポスターセッション
8. 徳光幸生、坂本和彦、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、新藤芳太郎、松井洋人、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 ソフト凝固2台併用法による腹腔鏡下肝切除術　デジタルポスターセッション
9. 恒富亮一、硲　彰一、岡山直子、井上由佳、鈴木伸明、坂本和彦、飯田通久、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭 Whole Exome Sequencing解析によって見いだされたイリノテカン副作用バイオマーカー　デジタルポスターセッション
10. 徳久善弘、石川　剛、坂本和彦、徳光幸生、松隈　聰、中島正夫、松井洋人、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、坂井田功、永野浩昭　当院における脾臓摘出術と部分的脾動脈塞栓術（PSE）の検討　デジタルポスターセッション
11. 鈴木伸明、硲　彰一、井上由佳、中島正夫、田中宏典、来嶋大樹、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭　腹腔鏡下脾弯部横行結腸癌手術における剥離ラインとリンパ節郭清範囲の定型化　デジタルポスターセッション
12. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、松井洋人、新藤芳太郎、飯田通久、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　肝切除術後に穿刺ドレナージを必要とした腹腔内液体貯留症例の検討　デジタルポスターセッション
13. 吉野茂文、飯田通久、兼清信介、北原正博、西山光郎、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭　腹腔鏡下胃全摘術における内側アプローチによる先行胃上部郭清の定型化　デジタルポスターセッション

第71回日本大腸肛門病学会学術集会 11/18-11/9 三重

1. 硲　彰一 一般演題（口演）8　直腸癌　鏡視下手術2　 司会
2. 硲　彰一、鈴木伸明、友近　忍、井上由佳、田中宏典、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、吉永榮一、永野浩昭　大腸がんにおける負の免疫病態解析に基づく次世代型複合がん免疫療法の開発　 ワークショップ
3. 田中宏典、鈴木伸明、友近　忍、井上由佳、中島正夫、北原正博、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、新藤芳太郎、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉永榮一、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　StageⅡ結腸癌における再発リスク因子の検討　 要望演題
4. 鈴木伸明、井上由佳、友近　忍、田中宏典、中島正夫、関矢まり、桑原太一、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉永榮一、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清術　 一般演題（口演）
5. 友近　忍、鈴木伸明、田中宏典、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、橋本真一、坂井田功、吉永榮一、硲　彰一、永野浩昭 クローン病手術症例における術前評価としてのCT enterography の有用性の検討　 一般演題（口演）
6. 井上由佳、鈴木伸明、田中宏典、兼清信介、徳光幸生、友近　忍、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、吉永榮一、永野浩昭　当科における腹腔鏡下内肛門括約筋切除術 （ISR) の検討　 一般演題（ポスター）

第10回肝臓内視鏡外科研究会 11/23 東京

1. 永野浩昭　シンポジウム2　肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除の適応 司会
2. 徳久善弘、坂本和彦、中島正夫、松井洋人、松隈　聰、徳光幸生、吉野茂文、硲　彰一、上野富雄、永野浩昭　肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除の手術成績　 シンポジウム
3. 徳光幸生、坂本和彦、藤本拓也、松隈　聰、松井洋人、徳久善弘、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、永野浩昭　当科における肝S7.8 病変に対する腹腔鏡下肝部分切除のアプローチ法の工夫　 シンポジウム関連
4. 松隈　聰、坂本和彦、徳光幸生、徳久善弘、松井洋人、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　結腸・直腸癌肝転移に対する腹腔鏡下肝切除の検討　 一般演題（口演）
5. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、松井洋人、武田　茂、上野富雄、永野浩昭　安全性を考慮した腹腔鏡下肝切除の導入　 一般演題（口演）
6. 藤本拓也、坂本和彦、松井洋人、松隈　聰、徳光幸生、徳久善弘、吉野茂文、硲　彰一、上野富雄、永野浩昭　膵体尾部に限局した腫瘍に対する至的リンパ節郭清の検討 ～悪性疾患に対する L-DP を安全に導入するために～　 一般演題
7. 松井洋人、坂本和彦、上野富雄、徳久善弘、徳光幸生、鈴木伸明、武田　茂、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　当科における腹腔鏡下膵切除術の検討　 一般演題

第8回膵臓内視鏡外科研究会 11/23 東京

1. 永野浩昭　一般演題⑥　安全性への取り組み（LDP） 司会

第78回日本臨床外科学会総会 11/24-11/26 東京

1. 永野浩昭　主題関連演題　安全・正確な肝離断のための工夫2 司会
2. 硲彰一　 一般演題　大腸：虫垂2　 司会
3. 吉野茂文　LS-03　あなたは良好な視野で鏡視下手術をしていますか？　 学術セミナー
4. 飯田通久、武田　茂、西山光郎、北原正博、兼清信介、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本　滋、硲　彰一、吉野茂文、永野浩昭　当科における幽門側胃切除術後残胃癌に対する治療戦略　 パネルディスカッション
5. 兼清信介、武田　茂、飯田通久、西山光郎、北原正博、徳光幸生、徳久善弘、鈴木伸明、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 当科における高齢者食道癌手術症例の現状　 ワークショップ
6. 徳久善弘、坂本和彦、中島正夫、松井洋人、松隈　聰、徳光幸生、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　当院における超高齢者に対する肝細胞癌の治療成績　 ワークショップ
7. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、松井洋人、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 胆嚢牽引法による前区域Glisson アプローチからのS８亜区域切除　 ビデオワークショップ
8. 前田訓子、山本　滋、関矢まり、中須賀千代、佐藤陽子、西山光郎、北原正博、井上由佳、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭　乳腺円状部分切除補助器具ならびに簡便な切除欠損部補填の手技を用いた 乳房温存手術ビデオワークショップ

9. 鈴木伸明、友近　忍、井上由佳、田中宏典、中島正夫、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　当科における下部直腸癌に対するランドマークを意識した側方郭清の定型化主題関連演題
10. 徳光幸生、坂本和彦、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、松井洋人、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　当科におけるソフト凝固２台併用法を用いた鏡視下肝離断の工夫　主題関連演題
11. 友近　忍、鈴木伸明、田中宏典、井上由佳、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　超高齢者に対する大腸癌腹腔鏡手術の検討　主題関連演題
12. 武田　茂、兼清信介、飯田通久、北原正博、西山光郎、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 当科におけるリンパ節転移からみた食道胃接合部癌の治療方針　主題関連演題
13. 佐藤陽子、山本　滋、前田訓子、関矢まり、中須賀千代、西山光郎、北原正博、井上由佳、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭　当院におけるトラスツズマブエムタンシン（T－DM１）の使用経験　ポスター

第29回日本外科感染症学会総会学術集会 11/30-12/1 東京

1. 武田　茂、真弓俊彦、岡　正朗、北川雄光、小西敏郎、福島亮治、小林美奈子、竹末芳生　消化管手術における術後予防抗菌薬　シンポジウム
2. 坂本和彦　当科における肝切除の周術期感染対策　スポンサードシンポジウム
3. 坂本和彦、徳久善弘、徳光幸生、中島正夫、藤本拓也、松隈　聡、松井洋人、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭 肝切除においてドレーンは必要か？　一般口演
4. 武田　茂、兼清信介、北原正博、西山光郎、松隈　聡、飯田通久、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　食道癌術前化学療法の感染性合併症についての検討　一般口演
5. 松隈　聰、上野富雄、坂本和彦、武田　茂、中島正夫、藤本拓也、松井洋人、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　監視培養を用いた膵頭十二指腸切除における周術期感染症予防　一般口演

第29回日本バイオセラピィ学会学術集会総会 12/2-12/2 福岡

1. 硲　彰一　ワークショップ１　がん免疫療法効果増強のための工夫　司会
2. 吉野茂文　一般演題４　予後因子、診断　司会
3. 吉野茂文、西川和宏、森田智視、高橋　剛、坂田晃一朗、根本　洋、村上　望、長谷川博康、清水良一、坂本純一、佐治重豊、岡正朗　進行・再発胃癌に対する S-1単独療法 / S-1＋レンチナン併用療法による第Ⅲ相試験　シンポジウム
4. 兼清信介、硲　彰一、松井洋人、鈴木伸明、中島正夫、井上由佳、徳光幸生、友近　忍、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、玉田耕治、永野浩昭　消化器がん・乳がんに対する新規がんペプチドワクチン療法の開発　ワークショップ
5. 松井洋人、硲　彰一、中島正夫、松隈　聡、井上由佳、兼清信介、徳光幸生、新藤芳太郎、恒富亮一、友近　忍、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、山本滋、上野富雄、吉野茂文、永野浩昭　肝細胞癌（HCC)に対する術後補助療法としての HSP70-mRNA 導入樹状細胞療法Ⅰ/Ⅱ相試験　一般演題
6. 友近　忍、井上由佳、硲　彰一、鈴木伸明、田中宏典、徳光幸生、兼清信介、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭　ADCC活性並びに immunogenic cell death を介した抗EGFR抗体の免疫的作用機序の病理学的検討　一般演題
7. 中島正夫、硲　彰一、鈴木伸明、井上由佳、兼清信介、松井洋人、桑原太一、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、藤田知信、河上　祐、永野浩昭　大腸癌ペプチドワクチン療法における治療効果予測マーカーの検討　ワークショップ
8. 鈴木伸明、硲　彰一、竹之内寛子、中島正夫、田中宏典、北原正博、松井洋人、兼清信介、友近　忍、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、田中浩明、有賀　淳、石崎秀信、吉松和彦、奥野清隆、藤田知信、河上　裕、永野浩昭　進行膵癌に対するペプチドワクチン療法における免疫学的バイオマーカー探索　ワークショップ
9. 桑原太一、硲　彰一、中島正夫、井上由佳、松井洋人、鈴木伸明、友近　忍、兼清信介、徳光幸生、坂本和彦、飯田通久、徳久善弘、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、藤田知信、河上　裕、永野浩昭　大腸癌治癒切除後の予後に関するがん局所における免疫学的因子の検討　一般演題
10. 田中宏典、硲　彰一、松井洋人、徳光幸生、兼清信介、友近　忍、飯田通久、恒富亮一、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、藤田浩司、黒田雅彦、奥野清隆、河上　裕、永野浩昭　大腸がんワクチン療法における miR-125b-1、miR-378a の治療効果予測マーカーとしての有用性～ Laser capture microdissection 法による癌細胞・間質細胞分離の応用～　一般演題

11. 北原正博、硲　彰一、恒富亮一、井上由佳、松井洋人、兼清信介、徳光幸生、友近　忍、飯田通久、徳久善弘、坂本和彦、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、杉浦史哲、奥野清隆、河上　裕、永野浩昭　免疫療法効果予測バイオマーカーとしての末梢血中 cell-free DNA integrity　一般演題
12. 川村純一郎、杉浦史哲、吉岡康多、肥田仁一、硲　彰一、奥野清隆　StageⅢ 大腸癌根治術後患者に対するUFT/UZEL 併用ペプチドワクチン療法の臨床的有効性と安全性の検討　ワークショップ
13. 硲　彰一、鈴木伸明、井上由佳、友近　忍、兼清信介、松井洋人、田中宏典、中島正夫、桑原太一、徳光幸生、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、藤田知信、河上　祐、奥野清隆、玉田耕治、永野浩昭　がんの微小環境制御を目的とした複合免疫療法第Ⅰ相試験　ワークショップ

第5回日本免疫・細胞治療学会学術集会 12/3 東京

1. 硲彰一 免疫チェックポイントを含む負の免疫制御によるがん複合免疫・ペプチド療法の構築と臨床展開　特別講演

第29回日本内視鏡外科学会総会 12/8-12/10 神奈川

1. 吉野茂文 一般演題222　Roux-en Y法　再建１　司会
2. 友近　忍、鈴木伸明、田中宏典、井上由佳、徳光幸生、兼清信介 、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　術後排便機能から見た完全直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の検討　ワークショップ
3. 鈴木伸明 、友近　忍、井上由佳、田中宏典、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　副中結腸動脈を栄養血管とした脾弯部結腸癌における剥離ラインとリンパ節郭清術　一般演題
4. 吉野茂文、武田　茂、飯田通久、兼清信介、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、硲　彰一、永野浩昭　腹腔鏡下幽門側胃切除後再建における circular stapler を用いた hemidouble stapling method の利点と欠点　一般演題
5. 硲　彰一、鈴木伸明、友近　忍、井上由佳、田中宏典、中島正夫、兼清信介、徳光幸生、徳久善弘、飯田通久、坂本和彦、武田　茂、山本　滋、吉野茂文、永野浩昭　定型化した下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下側方リンパ節郭清術　一般演題
   松隈　聰、坂本和彦、徳光幸生、徳久善弘、松井洋人、兼清信介、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、山本　滋、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　大腸癌肝転移に対する腹腔鏡下肝切除の検討　一般演題
6. 飯田通久、武田　茂、西山光郎、北原正博、兼清信介、坂本和彦、鈴木伸明、上野富雄、山本　滋、硲　彰一、吉野茂文、永野浩昭　高齢者胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の成績　一般演題
7. 徳光幸生、坂本和彦、桑原太一、中島正夫、藤本拓也、松隈　聰、松井洋人、徳久善弘、飯田通久、鈴木伸明、武田　茂、上野富雄、吉野茂文、硲　彰一、永野浩昭　ドーム下病変に対する腹腔鏡下肝切除におけるアプローチの工夫　デジタルポスター

研究費取得状況

種別	事業名	研究者名	代表・分担	交付額	研究課題名
科研費	基盤研究(C)	坂本和彦	代表	1,200,000	サイトカイン遺伝子多型に基づいた化学療法副作用の予測システムの開発
科研費	基盤研究(C)	吉野茂文	代表	1,300,000	バイオマーカーによる胃癌化学療法の効果予測―SPARCの発現および多型による検討
科研費	基盤研究(C)	武田　茂	代表	1,300,000	Diamine Oxidase(DAO)の遺伝子多型と化学療法の消化管毒性
科研費	基盤研究(C)	恒富亮一	代表	1,300,000	肝細胞癌転移抑制に向けた、癌幹細胞特性を示す独自誘導Shere細胞の標的分子解析
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	代表	900,000	形質転換と階層的複製能よりみた治療抵抗性肝癌に対する個別化治療についての研究
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	分担	130,000	癌細胞由来エクソソームによる腫瘍血管新生および浸潤転移機構の解明
科研費	基盤研究(C)	永野浩昭	分担	130,000	膵癌幹細胞におけるc-mycネットワークの発現意義の解明と新規治療標的分子の探索
科研費	基盤研究(S)	永野浩昭	分担	1,950,000	包括的統合的アプローチによる日本人早期膵癌の高精度診断の具現化
厚労科研	感染症実用化研究	永野浩昭	分担	1,500,000	モデル動物等を用いたHCV感染病態と関連する 宿主・ウイルス因子の解析解析と新規治療法の開発に関する研究
厚労科研	感染症実用化研究	永野浩昭	分担	100,000	多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化
AMED		永野浩昭	分担	800,000	既存の診療情報と一体的に運用可能な症例登録システムの構築とアウトカム指標等の分析・利活用に関する研究
科研費	若手研究(B)	前田訓子	代表	1,600,000	乳癌におけるGalectin-9/Tim-3の発現と臨床病理学的因子の検討
科研費	若手研究(B)	井上由佳	代表	1,200,000	Cetuximab加療後大腸癌のNGSを用いた腫瘍浸潤リンパ球のTCR解析

業績その他

2016　メディア

1.　朝日新聞　　2016年3月26日　ちゅうごくライフ　難治がんに新治療法　抗がん剤効かない/手術できない　　硲　彰一
2.　宇部日報　　2016年4月20日　山大医学部　看板掲げ、新設祝う　「先端がん治療開発学」　　硲　彰一　永野浩昭
3.　宇部日報　　2016年4月1日　基礎研究から臨床応用まで一体的に　山口大医学部「先端がん治療」講座を新設　硲　彰一
4.　読売新聞　　2016年5月31日　再生医療③　九州・山口の現場から　切除した小腸・体内で修復　　上野富雄
5.　文藝春秋　　2016年8月18日　有力医師が推薦する、がん手術の名医107人　　永野浩昭
6.　読売新聞　　2016年9月4日　外・内科連携　治療法選択　　永野浩昭
7.　読売新聞　　2016年11月6日　再発リスク、遺伝子検査で　　山本　滋

ワクチン

免疫システム　刺激

山口大病院の硲彰一准教授らは、他の薬が効かず、手術も出来ない大腸がんなどを対象に、ワクチン開発に挑んでいる。

アミノ酸が8～10個つながった物質をペプチドと呼ぶ。がん細胞は特有のペプチドを出している。このペプチドに、リンパ球の増殖を促す物質を加えて注射すると、免疫システムが「がん襲来！」と勘違いして、がん細胞を攻撃するリンパ球をどんどんつくる、という仕組みだ。

だが、最初の臨床研究では、予想より効果が小さかった。がん細胞が、リンパ球攻撃をかわす巧みな防御機構を備えていたからだ。

そこで硲さんたちはさらに、がん細胞の防御力を解除する物質も加えてワクチン化した。がん細胞を武装解除したうえで攻め込み、退治する、という戦略だ。

この研究は、文部科学省が2011年に5年間の重点研究を選んだ「次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム」の一つ。最終年度となる今年1月に、2種類の次世代ペプチドワクチンの臨床試験を始めた。

食道・胃・大腸・肝臓・膵臓・乳腺の6種のがんが対象で、すでに3人が参加している。4月には、大腸がんのみを対象にした別の臨床試験も始める。

参加できるのは、手術や薬など、既存の治療が効かない難治がんで、通院など軽作業が出来る程度の体力がある人に限っている。

硲さんは「免疫の刺激は、両刃の剣。予想外の副作用もありえますので、臨床試験は慎重に進めたい」と話す。

ワクチンは無料だが、他の検査や診察は実費が必要。9週間は毎週接種し、その後徐々に間隔をあけていき、最終的には毎月1回になる。

追伸　記者より

がんの治療法は日進月歩。とはいえ、まだ標準治療がないがんも多く、患者と治療者は闘いながら治療を模索しているのが現状です。「第4の治療」と呼ばれるワクチンや、遺伝子に手がかりを求めるゲノム医療など、新たな挑戦が、一日も早く現状を打ち破ってほしいと心から願っています。

（中村通子）

宇部日報　2

基礎研究から臨床まで一体的に

山口大医学部「先端がん治療」講座を新設

山口大医学部は「先端がん治療開発学」講座（硲彰一教授）を新設した。複数臨床科や基礎医学、農学部を含む大学院創成科学研究科、民間企業と連携して、治療薬の効き方や副作用を遺伝子レベルで解析し、患者一人一人に合わせた個別治療や、免疫力を高めてがんを治す免疫療法の実用化を加速化させる。

同講座は、同学部消化器・腫瘍外科学分野と長年、共同研究に取り組んできた東洋鋼鈑（東京都）と日本電気（同）の寄付講座として設置する。寄付総額は9000万円。

東洋鋼鈑とは、県のやまぐち産業戦略研究開発等補助金（を活用し、がん治療薬の効果や副作用を事前に高精度に予測できる低価格の遺伝子検査用チップを開発。薬剤の選択など治療方針の決定に大きく役立つと期待されている。

日本電気とは、文部科学省の「次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム」を活用し、免疫力を高めてがん細胞を攻撃する「がんペプチドワクチン療法」を効果的に実施する研究を共同で取り組んできた。

同講座は、2社に加え、消化器内科や泌尿器科、臨床検査分野などの同学部の他科や、農学部、獣医学科、工学系知能情報分野などと連携を取り、診断、治療、予防を含めたがん医療を、基礎研究から臨床開発まで一体的に行う。

硲教授は「患者一人一人に合った副作用の少ない、最も効果的な治療を実現するのが狙い。そのための診断や治療、薬剤開発に関する技術を産業化し、県の産業活性化や人材育成に貢献したい」と話した。（佐野）

3年間で700人の雇用創出目指す

戦略産業プロジェクト　県が次世代産業を支援

厚生労働省が募集した戦略産業雇用創造プロジェクトで、県の提案が採択され、11日に山口労働局の小松原正俊局長から、村岡嗣政知事に通知書が伝達された。中小企業の新分野への進出を支援し、3年間で700人の雇用創出を目指す。

高い技術力を生かした新事業展開を計画するものづくり企業で、環境やエネルギー、医療、航空機分野など次世代産業への取り組みを支援する。今年度の事業費見込みは2億9800万円で、うち8割が国庫補助。県内に企業OBをはじめとするコーディネーターを8人配置し、企業の成長段階やニーズ、事業展開方針に応じた一貫的な支援を行う。企業に対して事業拡大にかかる経費や人件費を助成する他、求職者向けの能力向上研修など人材育成事業も実施する。

県庁で通知書を受け取った村岡知事は「地方創生には、県外への人口流出を食い止めなければならない。ものづくり産業の新分野への展開を後押しし、700人という雇用創出目標を達成できるよう事業を前に進めていきたい」と語った。

同プロジェクトは、安定的で良質な雇用を創出するため、製造業を中心とする産業政策と一体となった地域独自の取り組みを支援する事業。地域が提案した事業構想の中から、コンテスト方式で13道府県が採択された。（岩本）

山陽小野田市　1万人目

Around

再生医療③　切除した小腸　体内で修復

九州・山口の現場から

実験室の中で細胞を培養し、様々な臓器や組織をつくって患者に移植するという再生医療のイメージを覆し、ユニークな治療法の開発に取り組む外科医がいる。

山口大病院（山口県宇部市）の上野富雄講師（消化器・腫瘍外科）。病気の治療などで短くなった小腸を、外科手術と再生医療を組み合わせ、体内で再生しようとしている。

■難しい移植

小腸に原因不明の炎症が起きるクローン病などの病気では、治療のため手術で腸の大部分を切除することがある。栄養や水分を十分に吸収できなくなるため、「短腸症候群」と呼ばれる下痢や栄養失調などの症状に悩まされる。

根本的な治療は小腸の移植だが、小腸は臓器移植の中でも拒絶反応や感染症が起こりやすく、難しい。栄養剤などを毎日点滴し続ける治療が必要になる場合もある。

■栄養届ける血管維持

上野講師によると、短い小腸を手術で長くする方法を考案した外国の研究者もいる。腸の管を切除した後、胃径を半分にする代わりに長くして体内に戻す。

しかし、この方法では「結局、栄養を吸収する腸の面積は変わらない」（上野講師）ため、効果は限定的だという。そこで考えたのが、再生医療の技術と組み合わせ、腸管の太さを保ったまま長さを倍にする手術法だ。

用いるのは、ブタの小腸粘膜下組織。拒絶反応が起こらないように生きた細胞部分を取り除く特殊な加工が施され、人の筋肉や臓などの修復手術用としてすでに製品化されているものを使う術想だ。

手術では、縦に切り開いた腸管の半分に修復手術用の素材を組み合わせ、元と同じ太さで倍の長さの管をつくる（イラスト参照）。腸に栄養を届ける血管を維持したままで行うのがポイントだ。

■動物実験では効果

この素材は「腸を育てる土と肥料がたっぷりとした畑に何の種もまかれていないような状態」だという。イヌやブタで動物実験を行ったところ、手術後約6か月後で、組織を移植した部分は、動物自身の細胞に置き換わっていた。食べ物を送る腸管特有の「ぜん動」という動きがあることも観察された。

人の小腸は6、7があるのに対し、短腸症候群の人は40、50%程度。これを倍の80%以上に延ばすだけでも、栄養吸収の改善が図れるという。上野講師は「次の段階として、動物自体から取り出した小腸組織で素材をつくり、同種の動物に移植する実験を行い、将来的には人への応用につなげたい」としている。

（編集委員　田村良彦）

次回は6月7日の掲載予定です。

山大医学部

看板掲げ、新設祝う

「先端がん治療開発学」

山口大医学部に先端がん治療開発学講座（硲彰一教授）が新設され19日、銘板上掲式があった。消化器・腫瘍外科学分野を中心に、複数臨床科や基礎医学、大学院創成科学研究科、民間企業が連携して、治療薬の効き方や副作用を患者ごとに解析したり、免疫力を高めてがんを治す免疫療法の実用化を加速化させる。

同講座は、同学部消化器・腫瘍外科学分野と長年、共同研究してきた東洋鋼鈑（東京都）と日本電気（同）の寄付講座（9000万円）として設置。

上掲式で、谷澤幸生・医学部長が「がんの個別化治療をさらに進め、日本、世界に向けて成果を出したい」、永野浩昭・消化器・腫瘍外科学講座教授が「治療と研究をつなげ、民間の力も借りて次のステージに」、東洋鋼鈑の森賀俊典・常務執行役員が「抗がん剤の効果や副作用を予測できる遺伝子検査用チップを共同開発してきた。患者さんに最適な治療を提供する手伝いをしたい」、日本電気の土肥俊・事業イノベーション戦略本部エグゼクティブエキスパートが「免疫療法の成果を世の中に出したい」、硲彰一・先端がん治療開発学講座教授が「個別化医療に向けた診断機器と免疫療法の開発成果を山口から世界へ発信したい」と述べた。

同講座は医学部キャンパス内の総合研究棟7階の135平方㍍に実験室や会議室、教授室がある。ヒトの全遺伝子を2日間で読む次世代シークエンサなどの高額機器を整備。硲教授ら常勤4人の他、消化器・腫瘍外科学分野や他科、東洋鋼鈑の研究者が随時、利用する。

（佐野）

看板を上掲した谷澤医学部長（左から2人目）ら（山口大医学部で）

支援物資搬送

九州・山口9県災害時応援協定

県は19日、九州・山口9県災害時応援協定に基づいた熊本県御船町から

文藝春秋 BUNGEISHUNJU CLINIC クリニック

文春ムック 880円＋税

特別読物 なぜ外科医を選ばなければならないのか

有力医師が推薦する

がん手術の名医107人

日本人に多い9領域のがん

頭頸部 肺 食道 胃 肝胆膵 大腸 乳 泌尿器 婦人科

外科手術の「根治性」「安全性」「QOL」を徹底的に追求 専門医が実力を高く評価する外科医107人を一挙に紹介する 医療ジャーナリスト・鳥集徹の書き下ろし長編リポート

本当に手術が巧い外科医インタビュー

肺がん・岡田守人（広島大学病院）

胃がん・福永哲（順天堂大学）

大腸がん・奥田準二（大阪医科大学病院）

乳がん・高橋将人（北海道がんセンター）ほか

推薦の多かった「腕のいい外科医」リスト・肝胆膵がん

名前・肩書き	病院名・住所・電話	特色
山本順司 外科3：肝・胆・膵外科 診療部長	防衛医科大学校病院 埼玉県所沢市並木3-2 ☎04-2995-1211	「修練」「素質」「創造」を3本柱とする誠実な医療と、外科解剖に精通し、画像診断に基づいた正確な手術が特徴。転移性肝がん、肝門部胆管がん、膵がんに対応。
宮崎　勝 病院長	国際医療福祉大学三田病院 東京都港区三田1-4-3 ☎03-3451-8121	高難度の胆道がん及び膵臓がんの外科切除の専門家。高度進行がんに対しても化学療法を併用するなど、消化器センターと協力する。
山本雅一 消化器病センター長	東京女子医科大学病院 東京都新宿区河田町8-1 ☎03-3353-8111	他院では難しい高難度の手術に取り組む。肝がん、胆のうがん、膵がんの手術数は日本有数。再発患者も看取りまでサポートする。
江川裕人 消化器病センター教授	東京女子医科大学病院 東京都新宿区河田町8-1 ☎03-3353-8111	生体肝移植の第一人者で、京都大学時代から通算1300例。移植に不可欠な血管再建技術などを駆使して、高難度の肝胆膵がん手術も手がける。
國土典宏 肝胆膵外科・人工臓器移植外科長	東京大学医学部附属病院 東京都文京区本郷7-3-1 ☎03-3815-5411	他院で手術が難しいと言われた患者も、根治できる可能性があれば手術を実施。安全性も重視しており、肝がんの手術死亡率は0.2％と極めて低い。
齋浦明夫 肝胆膵外科部長	がん研有明病院 東京都江東区有明3-8-31 ☎03-3520-0111	大腸がん肝転移や膵がんの手術に積極的に取り組む。他院で難しいと言われたがんでも、外科的な立場から最後まで可能性を追求する。
高山忠利 消化器外科部長	日本大学医学部附属板橋病院 東京都板橋区大谷口上町30-1 ☎03-3972-8111	世界で初めて、肝臓の最も奥深い部分で発生したがんの手術（肝尾状葉単独全切除手術）に成功した。「献血献血の採血量以下に出血を抑える」がモットー。
遠藤　格（いたる） 消化器・肝移植外科学主任教授	横浜市立大学附属病院 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9 ☎045-787-2800	二度のアメリカ留学の経験を生かして現場にのぞむ。進行がんには術前治療ののちに徹底郭清を伴う根治術を行い、全国有数の良好な治療実績を上げている。
上坂克彦 副院長兼肝胆膵外科部長	静岡県立静岡がんセンター 静岡県駿東郡長泉町下長窪1007 ☎055-989-5222	日本有数の肝胆膵外科施設の一つ。他院では難しいと言われた症状も、根治の可能性があれば手術する。生存率向上を目指した膵がんの化学療法にも取り組む。
梛野（なぎの）正人 消化器外科一教授	名古屋大学医学部附属病院 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65 ☎052-741-2111	最高難度とされる胆道がん（肝門部胆管がんなど）に関して、世界トップの手術数と実績を誇る。「メスの限界を極める」をモットーに肝胆膵がん手術に挑む。
久保正二 肝胆膵外科病院教授	大阪市立大学医学部附属病院 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7 ☎06-6645-2121	肝がんの手術数は西日本有数。高難度手術から腹腔鏡による肝切除や膵切除にも取り組む。印刷用化学物質による胆道がん発症の調査研究・治療でも有名。
永野浩昭 消化器・腫瘍外科学教授	山口大学医学部附属病院 山口県宇部市南小串1-1-1 ☎0836-22-2111	大阪大学で実績を残し、昨年3月に赴任。年間150例以上の手術数は県内有数。高難度の進行胆のうがんや肝門部胆管がんに取り組み、肝移植の手術経験も豊富。
江口　晋 移植・消化器外科教授	長崎大学病院 長崎県長崎市坂本1-7-1 ☎095-819-7200	米国やオランダで腕を磨いた移植・再生医療のエキスパート。2012年に当時44歳の若さで教授に就任。移植技術を生かし、積極的に腹腔鏡手術を実施する。

2016年（平成28年）9月4日（日曜日）　読売新聞

外・内科が連携 治療法選択

病院の実力 山口・九州編

大腸がん

全国の主な病院の治療実績について読売新聞がアンケートした結果を掲載する「病院の実力」。今回は大腸がん（結腸がん、直腸がん）がテーマだ。一覧表には、2015年1年間に実施された結腸がん、直腸がん別の手術数、うちそれぞれの腹腔鏡手術の数、肛門から内視鏡を差し入れてがんを切除するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の件数を示した。

■検診で早期発見

大腸がんの患者は、食生活の欧米化を背景に増えている。早期発見のためには検診が有効で、便に血液の成分が混ざっていないかどうか調べる「便潜血検査」が行われる。さらに詳しい診断には、肛門からバリウムを入れてエックス線で撮る注腸造影検査や、大腸内視鏡検査がある。

山口大病院（山口県宇部市）消化器・腫瘍外科学教授の永野浩昭さん＝写真＝によると、手術は腹部に開けた小さな穴から内視鏡や手術器具を差し込んで行う腹腔鏡手術を原則用いている。腹腔鏡と小さな切開を併用して行う手術や、傷が目立たないようにへその部分から穴を開けて器具を差し込む工夫も行われている。

同大では、外科と内科の医師が連携して治療法の選択について話し合い、手術や抗がん剤治療など、患者に合った治療方法を決める。がんが早期の場合は、内視鏡で切除できる場合もある。進行したがんでも、抗がん剤治療でがんを小さくしたうえで切除手術を行うケースもある。また腫瘍センターでは、抗がん剤治療の専門家である腫瘍内科医と連携し、通院による抗がん剤治療などを担っている。

永野さんは、「まずは大腸がん検診を受けることが大切です。疑いがある場合は、適切な治療のためにも大腸がんの専門医を受診してほしい」と呼び掛けている。

■肛門温存か人工肛門か

九州大病院（福岡市東区）は1995年頃から、大腸がんに対する腹腔鏡手術を始め、現在約9割で用いている。「傷が小さく、痛みが少ないだけでなく、専門施設では安全性の面でも開腹手術と遜色ない」と消化管外科診療准教授の沖英次さん＝写真＝は強調する。

沖さんによると、大腸がんの場合、進行して肝臓などに転移した患者であっても、必要であれば[illegible]の切除を行う。沖さんは「進行がんでは、手術後すみやかに抗がん剤など次の治療に移行しなければいけない。その点でも、体に負担の少ない腹腔鏡手術は利

病院の実力「大腸がん」

医療機関別2015年治療実績（読売新聞調べ）

医療機関名	手術・結腸がん（件）	手術・直腸がん（件）	腹腔鏡手術・結腸がん（件）	腹腔鏡手術・直腸がん（件）	ESD（件）
広島					
市立広島市民	145	119	82	90	38
広島市立安佐市民	115	69	80	61	73
県立広島	120	55	80	25	33
福山市民	115	43	54	36	36
広島大	82	74	61	59	116
広島記念	100	51	78	40	1
ＪＡ尾道総合	87	53	84	48	18
ＪＡ広島総合	98	41	69	26	22
国・福山医療セ	83	51	52	30	21
国・東広島医療セ	75	30	20	5	0
中国中央	49	18	45	17	8
尾道市立市民	32	15	12	7	12
庄原赤十字	12	12	3	11	1
井上	5	1	0	0	4
野村	0	0	0	0	－
山口					
地・徳山中央	121	31	19	2	0
山口大	100	33	92	28	34
済生会下関総合	90	36	38	8	0
下関市立市民	59	15	39	12	－
山口労災	51	15	39	11	1
周東総合	38	24	4	4	7
小郡第一総合	11	8	2	0	0
福岡					
九州大	155	113	135	101	17
飯塚	151	51	76	28	28
北九州市立医療セ	119	76	108	66	47
久留米大病院	114	43	45	25	8
国・九州医療セ	88	59	66	52	26

2016年（平成28年）11月6日（日曜日）　読売新聞

再発リスク、遺伝子検査で

病院の実力 九州・山口編

乳がん

全国の主な病院の治療実績について読売新聞がアンケートした結果を掲載する「病院の実力」。今月は乳がんがテーマだ。一覧表には、2015年1年間の手術件数、同時再建手術の件数と、再発リスク検査、遺伝性乳がん・卵巣がんの遺伝子検査を受けることができるかどうかを示した。

■40歳以上は2年に1回

国は40歳以上の女性を対象に2年に1回、マンモグラフィー（乳房エックス線撮影）と問診による検診を推奨している。また、年間9万人の患者のうち約3000人は遺伝性が疑われ、母親など近しい親族に患者がいる場合は、若くても注意が必要という。

手術には、乳房を残す「温存療法」か乳房を切除する「全摘」があり、一般的にがんが3cm以下であれば温存療法が適用できる。抗がん剤治療でがんを縮小させて乳房温存手術を行う場合もある。

山口大（山口県宇部市）消化器・腫瘍外科講師の山本滋さん＝写真＝は「しこりなど気になる症状があれば近くの外科を受診し、必要に応じて専門医を紹介してもらうことが大事」と呼び掛ける。

■女性総合診療科で

久留米総合病院（福岡県久留米市）は、医師や看護師、技師など全てのスタッフを女性で担う女性総合診療科「なでしこの外来」を行っている。院長で乳腺外科医の田中眞紀さん＝写真＝によると、女性患者から、「男性医師に胸の詳細な症状を伝えるのは恥ずかしい」との要望が寄せられたことがきっかけで02年に始めた。毎週水曜日、内科や婦人科など幅広い科で行っている。また乳がん検診は、併設の健康管理センターで週1回午後、乳がん検診の日を設け、女性医師らで行っている。

田中さんは「患者と密なコミュニケーションを図り、症状や悩みについて打ち明けやすい環境作りを目指している」と話す。

■抗がん剤の必要判別

近年、遺伝子を解析して再発リスクを調べる検査が導入され始めている。うえお乳腺外科（大分市）は12年から希望者に実施している。ホルモン受容体が陽性の患者の一部には、手術後の抗がん剤の追加が必要か判別しにくいケースがあり、詳しい検査をすることが望ましい。

院長の上尾裕昭さん＝写真＝は「再発のリスクが低いと

病院の実力「乳がん」

医療機関別2015年治療実績と検査体制（読売新聞調べ）

医療機関名	全手術（件）	同時再建手術（件）	再発リスク検査（できる場合は○）	遺伝性乳がん・卵巣がんの遺伝子検査（できる場合は○）
山口県				
山口大	103	1		○
地・徳山中央	89	0	○	○
済生会下関総合	56	0		
周東総合	34	0		
下関市立市民	26	0		○
小郡第一総合	22	0		○
山口労災	21	0		
福岡県				
北九州市立医療セ	415	18		○
地・久留米総合	394	29	○	○
国・九州がんセ	264	5	○	○
及川	205	15	○	○
九州大	202	2	○	○
国・九州医療セ	153	13		○
浜の町	139	13	○	
新古賀	132	4		○
飯塚	125	0		
産業医大	101	10		○
福岡和白	94	0	○	
久留米大病院	91	9	○	○
亀田乳腺・外科ク	88	3	○	○
済生会福岡総合	80	0		
広瀬	73	0		○
黒木ク	71	13		
ナグモクリ福岡	58	34		
聖マリア	46	2		
熊本県				
くまもと森都総合	255	11	○	○
熊本大	243	26	○	○
くまもと乳腺・胃腸外科	215	0		○
市立熊本市民※1	152	1		
熊本赤十字	88	9	○	
地・人吉医療セ	44	0		
地・熊本総合	20	0		
天草地域医療セ	14	0		○
済生会熊本	13	0		
大分県				
うえお乳腺外科	330	9	○	○

Clinical and Research Conference
2016.1.16

時間		全体進行係：鈴木　伸明
8:00～8:40	1.各診療グループ報告	司会：武田　茂
	・上部消化管グループ	吉野　茂文
	・下部消化管グループ	硲　彰一
	・肝胆膵グループ	上野　富雄
	・乳腺内分泌グループ	山本　滋
8:40～15:30	2.研究者発表会議	午前司会：吉野　茂文
		午後司会：硲　彰一
	中島　正夫	①Novel immunotherapy against colon cancer using Chimeric Antigen Receptor T cell (CART) ②High SPARC expression of stromal cells surrounding the cancer cells is associated with a lower recurrence rate and better survival in patients with resectable gastric cancer
	藤本　拓也	① Analysis of microRNAs in patients with advanced HCC who have received immunotherapy using dendritic cells transfected with HSP70mRNA
		② Analysis of human small intestinal submucosa(SIS)
	西山　光郎	① Cancer Stem-like Sphere Cells Induced from De-differentiated Hepatocellular Carcinoma-derived Cell lines Exerts Liver Metastatic Potential
		② Induction of squamous cancer stem-like cells from cell lines of esophageal cancer
	田中　宏典	miR-125b and miR-378a are possible predictive biomarkers for the efficacy of the vaccine treatment for colorectal cancer
	来嶋　大樹	Predictive biomarkers for the efficacy of vaccine treatment for colorectal cancer
	松隈　聰	Calreticulin is highly expressed in pancreatic cancer stem like cells and related to the poor prognosis of pancreatic cancer patients.
	北原　正博	Prediction of susceptibility to anticancer agents by measuring the integrity of cell-free DNA circulating in the blood in patients with colorectal cancer
	井上　由佳	TCR Sequencing of Advanced Colorectal Cancer Patients　Receiving anti - EGFR antibody.
	兼清　信介	Clinical Significance of Secreted Protein Acid and Rich in Cystein(SPARC) in Esophageal Cancer
	松井　洋人	Adjuvant Immunotherapy using dendritic cells transfected with HSP70mRNA following curative hepatectomy of hepatocellular carcinoma : phase Ⅰ/ Ⅱ study
	新藤　芳太郎	Biomarkers for cancer immunotherapy
	筒井　理仁	Expression of programmed death ligand 1 (PD-L1) and programmed death 1 (PD-1) in HER2-positive breast cancer patients.
	吉野　茂文	Clinical trial of gastric cancer
	徳光　幸生	Development of an individualizing predictive system for outcome of patient with hepatocellular carcinoma after curative hepatectomy
	前田　訓子	Analysis of Tumor Immune Evasion of T cell immunoglobulin mucin-3 (Tim-3) /Galectin-9 interaction in Breast Cancer
	恒富　亮一	Cancer stem-like sphere cells from HCC cell lines & genome wide analysis for clinical application
	飯田　通久	Overexpression of miR221/222 in cancer stroma are associated with malignant potentials in colorectal cancer.
	坂本　和彦	Laparoscopic hepatectomy attenuates postoperative systemic responses
	鈴木　伸明	The report of VENUS-PC study
	武田　茂	Evaluation of the postoperative nutritional status in esophageal cancer patients
	上野　富雄	Clinical Application of Duct Penetrating Method
	山本　滋	Contrast-enhanced ultrasonography in diagnosis of sentinel node metastasis in breast cancer patients
	硲　彰一	Immunotherapy in our department---Past, present, and future perspective---
	千々松　日香里 徳久　晃弘 木村　祐太 桑原　太一 藤原　康弘	業績・目標報告
15:30～15:50	3.教室運営方針と体制	永野 浩昭 教授
15:50～16:00	4.総括	永野 浩昭 教授

Clinical and Research Conference
2016.7.23

時間		全体進行係：鈴木　伸明
7:30～13:30	1.研究者発表会議	午前司会：山本　滋 午後司会：武田　茂
	藤原康弘	①The relationship between the expression of NQO-1 and the outcome of pancreatic cancer patients ②Analysis about Cathepsin B and Annexin A2 which are highly expressed in pancreatic cancer stem like cells
	桑原　太一	Verification of efficacious adjuvants for CTL-induction　using HLA-A24 mouse with HSP70 derived peptide
	中島　正夫	①Immunotherapy against colon cancer using novel Chimeric Antigen Receptor T cell (CART) ②High SPARC expression of stromal cells surrounding the cancer cells is associated with a lower recurrence rate and better survival in patients with resectable gastric cancer
	藤本　拓也	①Analysis of the immune checkpoints expression in Pancreatic cancer stem like cells（P-CSLCs） ②Analysis of microRNAs in patients with advanced HCC who have received immunotherapy using dendritic cells transfected with HSP70mRNA
	西山　光郎	①Cancer Stem-like Sphere Cells Induced from De-differentiated Hepatocellular Carcinoma-derived Cell lines Exerts Liver Metastatic Potential ②Induction of squamous cancer stem-like cells from cell lines of esophageal cancer
	田中　宏典	miR-125b and miR-378a are possible predictive biomarkers for the efficacy of the vaccine treatment for colorectal cancer
	松隈　聰	Calreticulin is highly expressed in pancreatic cancer stem like cells and related to the poor prognosis of pancreatic cancer patients.
	松井　洋人	Adjuvant Immunotherapy using dendritic cells transfected with HSP70mRNA following curative hepatectomy of hepatocellular carcinoma：phase Ⅰ/ Ⅱ study
	北原　正博	Prediction of susceptibility to anticancer agents by measuring the integrity of cell-free DNA circulating in the blood in patients with colorectal cancer
	近藤　潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
	山本　滋	Contrast-enhanced ultrasonography in diagnosis of sentinel node metastasis in breast cancer patients
	井上由佳	TCR Sequencing of Advanced Colorectal Cancer Patients　Receiving anti - EGFR antibody.
	前田　訓子	Analysis of Tumor Immune Evasion of T cell immunoglobulin mucin-3 (Tim-3) /Galectin-9 interaction in Breast Cancer
	恒富　亮一	Cancer stem-like sphere cells from HCC cell lines & genome wide analysis for clinical application
	兼清　信介	Comprehensive Registry of Esophageal Cancer in Department of Gastroenterological, Breast and Endocrine Surgery, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 2016
	徳光　幸生	Development of an individualizing predictive system for outcome of patient with hepatocellular carcinoma after curative hepatectomy
	友近 忍	①Rectus sheath block(RSB) by　ropivacaine in patients undergoing laparoscopic colectomy ②Database: Chemotherapy for colorectal cancer patients
	飯田　通久	Overexpression of miR221/222 in cancer stroma are associated with malignant potentials in colorectal cancer.
	坂本　和彦	Clinical comparison of prevention of bile leakage using transcystic duct tube after hepatectomy with propensity score matching analysis
	鈴木　伸明	A semiannual report of colorectal operations and clinical trial
	徳久善弘	The role and mechanism of stat3 in tumor associated macrophage in tumor genesis and inflammatory micro environment
	武田　茂	Evaluation of the postoperative nutritional status in esophageal cancer patients
13:30～13:45	2.総括	永野 浩昭 教授

新入局者あいさつ

渡邉孝啓　平成26年卒

平成28年に山口大学消化器腫瘍外科に入局させていただきました渡邉孝啓と申します。平成26年に山口大学医学部を卒業後、国立病院機構関門医療センターでの2年間の初期臨床研修を終え、平成28年4月より大学病院で修練させていただいております。出身は広島県ですが、医療者としてお世話になった山口県にて外科医としての第一歩をスタートさせていただくこととなりました。1年間大学でお世話になり、先生方の手術手技に圧倒され、自分の手技の未熟さに落ち込むことも多いですが、大変有意義な時間を過ごさせていただいております。
まだまだ未熟な面は多いですが、少しでも多くの患者さんのお役に立てるよう、また青山会の発展に貢献できるよう日々精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

関矢まり　平成26年卒

平成28年に消化器腫瘍外科に入局させていただきました関矢まりと申します。地元宇部高校卒、平成26年に山口大学医学部を卒業しました。在学中は日々日焼けをしながら軟式テニス部で活動しておりました。卒後は国立病院機構関門医療センターで2年間の初期研修を行いました。その際に消化器腫瘍外科同門の先生方に大変お世話になり、外科医となることを決意いたしました。入局後は大学病院に各班をローテートさせていただき、素晴らしい諸先輩方にご指導いただきながら、外科医として働けることに、日々喜びを感じております。常に前向きをモットーに、外科医として1人前となれるよう日々精進を重ねて参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

藤井敏之　平成11年卒

平成28年より、縁あって山口大学第二外科の一員に加えていただきました藤井と申します。外科医となって18年、人生の下り坂に入った不惑の45歳おっさんです。
親の体調不良を理由に、H23年3月に島根大学を退局して故郷である周南市に戻り、周南記念病院に就職して早6年が過ぎました。2年前から硲先生に腹腔鏡手術を指導いただける贅沢な機会に恵まれて、気持ち新たに日々研鑽に励んでいると言いたいところですが、冷めた鉄はいくら打っても鍛えられないようで、手術も子育ても悩みは深まるばかりです。医局のお力を借りながら一例一例丁寧な手術を行い、まずは一遍論文につなげることを目標にがんばっていきます。ご指導よろしくお願いします。

2016年　年間行事

東光寺　境内　（萩市）

月	医局行事・他	学会	研究会・セミナーなど
1	Clinical and Research Conference	第84回大腸癌研究会	第71回山口県難治性肝疾患研究会
2	第33回宇部駅伝競走大会 飯塚徳男先生教授就任祝賀会	第37回九州肝臓外科研究会学術集会	第33回山口県食道疾患研究会
3	送別会	第88回日本胃癌学会総会 第52回日本腹部救急医学会総会 第15回日本再生医療学会総会 第49回制癌剤適応研究会	第6回宇部市医師会生涯教育講座 第9回山口県消化管セミナー 第2回難治性疾患トランスレーションセミナー 緩和ケアセミナー　in YAMAGUCHI
4	1病棟6階　花見	第116回日本外科学会定期学術集会	
5	青山会（同門会）	第37回癌免疫外科研究会 第52回日本肝臓学会総会 第70回手術手技研究会	
6	WCC縫合コンテスト	ASCO 2016 第28回日本肝胆膵外科学会 第38回日本癌局所療法研究会 第41回日本外科系連合学会学術集会術集会 第24回 日本乳癌学会学術総会	第75回山口県臨床外科学会 第61回山口県労災医学会 12回山口県外科感染症研究会 周南肝疾患学術講演会 地域医療支援研修
7	Clinical and Research Conference 医局旅行	第70回日本食道学会学術集会 第20回日本がん免疫学会総会 第71回日本消化器外科学会総会 第52回日本肝癌研究会 第14回日本臨床腫瘍学会学術集会 第34回日本肝移植研究会	第1回 山口県難病・小児慢性特定疾病指定医研修会 山口県協力難病指定医研修会 第6回　遺伝子多型研究会 第1回　山口膵・胆道疾患研究会
8	上野先生教授就任壮行会	第43回日本膵切研究会	第2902回例会　宇部ロータリークラブ ウィークリーレポート
9		第44回日本臨床免疫学会総会 第27回日本消化器癌発生学会総会 第11回肝癌治療シミュレーション研究会 第52回日本移植学会総会	第6回肝胆膵フォーラム in Yamaguchi 第141回山口県医師会生涯研修セミナー 日本医師会生涯教育講座 第3回山口大学医学部附属病院 医療人キャリア支援室キャリアアップセミナー 第10回山口県消化管セミナー
10	先端がん治療開発学講座記念式典	第4回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会 第75回日本癌学会学術集会 第54回日本癌治療学会学術集会	第1回がん化学療法セミナー
11		第24回日本消化器関連学会週間 第71回日本大腸肛門病学会学術集会 第10回肝臓内視鏡外科研究会 第78回日本臨床外科学会総会	Gastric Cancer Seminar In Kanmon
12	大忘年会 維新の会 第17回　萩城下町マラソン	第29回日本外科感染症学会総会 第29回日本バイオセラピィ学会学術集会総会 第29回日本内視鏡外科学会総会 第8回膵臓内視鏡外科研究会	第4回山口大学消化器・腫瘍外科学 ヘルニアを極める会 膵癌治療フォーラム　in 下関

2月　宇部駅伝

今年は晴天に恵まれました！　みんないい笑顔です☆
白熱した徳久兄弟のアンカー勝負はわずかに弟に軍配！やはり若い！

2月　飯塚徳男先生教授就任祝賀会

飯塚先生を師事する医局員で溢れています!!

↑　徳光先生によるご発表!!
皆、笑いがとまりませんでした(ˆ ◇ ˆ)

飯塚先生と研究補佐員の佐野さん

3月　送別会

筒井先生に山本滋先生から花束贈呈
筒井先生、新天地でも頑張ってください！

来嶋先生へ硲先生より激励のお言葉。
なぜか微妙な距離が…（場内爆笑でした）

兄貴、お世話になりました！

兄貴、お世話になりました！

徳光先生、一生ついていきます♡

3月　送別会

近沢師長大変お世話になりました！　救命センターでもその敏腕ぶりを発揮されることでしょう！
ご活躍を祈念いたします！

角谷副師長（左）と近沢師長（右）

4月　外科学会

永野教授のお膝元、そう、ここは大阪の北新地!!
まずは前哨戦、串揚げ屋にてプチ現地同門会です!!

6月　第6回Nippon Neuromuscular Meeting

第6回　Nippon Neuromuscular Meeting　にて吉野茂文先生がご講演されました。

5月　縫合実習

学生を対象に縫合実習が行われました。和やかな雰囲気のなか、みなさん真剣にとりくんでいます。

未来の外科医の熱心な姿を前に、永野教授も指導に熱が入ります!!

5月　青山会　勉強会

永野教授のご挨拶

水田会長のご挨拶

議長　村上先生

平木先生より、熊本震災時の
DMAT活動報告がありました

新入局員挨拶　左から関矢先生、　渡辺先生、　藤井先生

フロアからも活発な討論があり、盛り上がります！

ほっこり☆

亀田総合病院　草彅先生にも
ご講演いただきました。

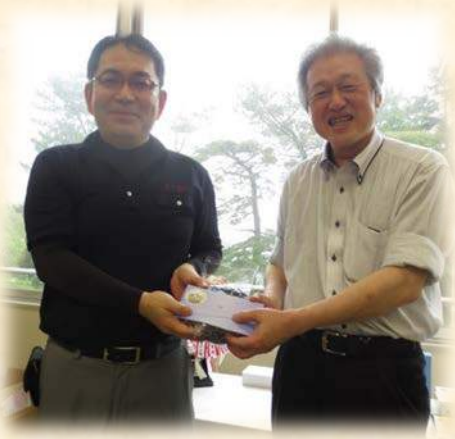
5月　青山会ゴルフ

今年も多くの先生方にご参加いただき大変ありがとうございました。

普段は厳しい永野教授も
今日は笑顔です！

オープニングショット!!

お見事　トップ賞は吉野先生！



橋本先生も入賞で笑顔(ˆ ◇ ˆ)

飯田先生がゲットしたのは
カレー！？

鈴木医局長も「イェ～い！」

6月　肝胆膵外科学会

学会のあと、永野教授、上野先生を囲んで食事会です
このあと永野教授御用達の北新地のニュークラブへ!!
勉強になりました　(ˆ ◇ ˆ)

坂本先生、肝胆膵外科学会　高度技能専門医合格、おめでとうございます!!

6月　WCC縫合コンテスト

永野教授のご挨拶

徳久善弘先生のミニレクチャー

真剣に取り組む参加者、採点者の厳しい眼が光ります！

第一外科、第二外科合同のWCCは大盛況でした！皆さんご参加ありがとうございました。

7月　遺伝子多型研究会

裕先生のご挨拶

恒富先生の御発表の様子です　　皆さん真剣にメモをとられていました

7月　消化器外科学会@徳島

第71回 The 71st General Meeting of the Japanese Society of Gastroenterological Surgery
日本消化器外科学会総会

今年の消化器外科学会は徳島でした！

JSGS2016 TOKUSHIMA

徳島市内にホテルを確保できなかった
ホテル難民消化器外科医がキャンプイン!!

神山町のACN・コットンフィールドさん
大変お世話になりました　m(__)m

この人たちはいったい…
いやいや、ちゃんと学会会場では
しっかり勉強してますから!!

7月　医局旅行@萩

萩本陣の宴会場での集合写です
かけつけてくださった山本達人先生、兼田先生、本当にありがとうございます

当科を支える重鎮による
大迫力のスリーショット!!

北原先生、幹事大変おつかれさまでした！
マイクなし大声で引率する姿、感動しました！

7月　萩医局旅行@萩

2日目はご家族も一緒にみんなで浜辺でバーベキューです☆

そうめん流しに夢中な子供たち

スイカ割り大会!!

ん？負けられない戦いがここにある！

医局旅行を盛り上げてくださった
山本先生、玉木先生、亀井先生、
兼田先生、本当にありがとうございました。

9月　ゴルフ大会

当科のゴルフ愛好家のみなさん　(ˆ ◇ ˆ)

みんなで、ナイスショット！

イケメン外科医だらけ

8月　上野先生教授就任壮行会

永野教授のご祝辞

上野先生にまつわる様々なエピソードが披露されました。

上野先生、この度は本当に
おめでとうございます

左から　角谷副師長、山下師長、上野先生、奥様

10月　先端がん治療開発学講座記念式典

裕先生ご挨拶

永野教授よりご祝辞

岡学長よりご祝辞

11月　医局説明会

永野教授のご挨拶

中須賀先生より医局紹介

焼肉で和気藹々!!

説明会よりはやはり地焼肉がメイン？？？

何人もの学生が

「二外科入ります！！」

と言ってましたが…ほんとかいな…

期待しちゃいますよ～♪

12月　井上由佳先生ご結婚披露宴

新郎新婦よりごあいさつ♡

第二外科の美しい女医の先生方
迫力のある！？　5名揃い踏み!!

会場にかけつけた5台のピンククラウン☆

3次会にも新婦登場！すごい…

12月　萩城下町マラソン

スタート前に　山口大学消化器腫瘍外科、都志見病院、玉木病院の
ランナーみんなで集合写真です。　さあがんばるぞ～!!　毎年この絵が見れるのが楽しみです　(ˆ ◇ ˆ)

兼清先生、青空とさわやかな汗がよく似合います☆

北原先生、応援ありがとうございました

12月　2外科維新の会@下関

今年の会場は　海峡ビュー下関でした！

兼清会長のごあいさつ

松隈先生の来年の抱負に聞き入る維新の志士たち

白熱した討論を繰り広げる同期の二人

恒例の徳光先生のレクチャーです。いつもありがとうございます。

12月　病棟大忘年会

2016年を締めくくる病棟大忘年会です、今年もたくさんの余興があり、大変盛り上がりました！

しもしも～

ミッキマウス♪ミッキマウス♪

幹事　藤原ッス

編集後記

2016年、永野教授の新体制が本格的に稼働を開始した年になった。上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺・内分泌と臓器ごとの専門性を打ち出し、帰学者は各臓器チームのローテーション、ならびに器官病態外科（第一外科）への研修を行うようになった。また、大学院生はベッドフリーとなり硲教授の先端がん治療開発学講座や基礎系講座への出向を行い研究に没頭できる環境を作ってもらった。それらが定着し実を結ぶのは数年後になるであろうが確実に一歩ずつ進んでいることをこの編集を通じて実感した。それにしても月日がたつのは早いと思う年になってしまった。「光陰矢のごとし」。小学生の頃はまったくピンと来なかった言葉である。今回、編集した記事を見直し自分が肝胆膵班のチーフとなったことも実感。実働部隊の歩兵の立場がいつの間にか司令官の立場に変わっている。柄じゃないな、と思うのだが自分も経験を積みレベルアップしている（？）と思いたい。来年度も仲間とともにレベルアップし、消化器・腫瘍外科チームの戦闘力アップに励みたいと思う。そしてその戦果をまた来年年報で報告したい。

平成29年4月

坂本　和彦

松陰神社　石碑　吉田松陰　辞世の句　（萩市）
「親思う心にまさる親心　けふのおとずれ何ときくらん」

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学　教室年報：2016
平成29年5月発行

発行　山口大学大学院医学系研究科　消化器・腫瘍外科学

編集責任者　坂本和彦
編集委員　　徳光幸生　藤本拓也　中島正夫

TEL：0836-22-2264
FAX：0836-22-2263
ホームページ：http://www.yamadai-gesurgery.jp/